

第31回

# 日本外来小児科学会年次集会

## ガイドブック

会期 2022年8月27日(土)・28日(日)

会場 福岡国際会議場／福岡サンパレスホテル

会頭 稲光 毅 いなみつ  
こどもクリニック

事務局長 中山 英樹 桜坂なかやま  
こどもクリニック

プログラム委員長 牟田 広実 いいづか  
こども診療所

<https://site2.convention.co.jp/31sagpj>

Community Pediatricsの実践を目指して  
—クリニックで、地域で、健やかな育ちを支える—



これからも  
ずっと、  
この街で

選ばれる薬剤師  
頼られる薬剤師  
親しまれる薬剤師  
を目指します。



## ずっと福岡で必要とされる存在へ ～タカラ薬局が次世代へつなぐこと～

これからもずっと、福岡市を中心とした店舗展開を推進していく中で、薬学的知見に基づき、福岡住民の方々の健康をサポートさせていただく。そのためには、現在、そして、これから活躍する人材育成に注力し、専門性に特化する、もしくは、総合的判断力に優れた「選ばれる薬剤師・頼られる薬剤師・親しまれる薬剤師」を創出することに、日々取り組んでおります。更に、薬剤師が、地域活動や災害支援などを通じて、日常生活の中で、より身近な存在で有り続けたいと想っております。この想いを従業員と共に叶えていく事で、タカラ薬局のバトンを次世代へ繋げると確信しております。



# CONTENTS

1. 会頭挨拶	3
2. 年次集会概要	4
3. 会場アクセス	4
4. タイムスケジュール	6
5. 各種申込／募集要項	8
6. ワークショップ一覧	11
7. 特別企画	24
8. 各種講演	25
9. シンポジウム	27
10. セミナー	33
11. 小児AMR対策セミナー	36
12. こどもどこセミナー	37
13. ハンズオンセミナー・スポンサードセミナー	38

## 【各種申込スケジュール一覧】

項 目	申込開始日	申込締切日
事前参加登録	4月15日(金)	7月20日(水)
一般参加登録	7月21日(木)	8月28日(日)
一般演題募集	4月15日(金)	5月27日(金)
パネル展示募集	4月15日(金)	5月27日(金)
患者家族の会・支援者の会募集	4月15日(金)	5月27日(金)
ワークショップ参加申込	4月25日(月)	5月27日(金)
ハンズオンセミナー申込	4月25日(月)	5月27日(金)
小児AMR対策セミナー参加申込	4月25日(月)	5月27日(金)
こどもどこセミナー参加申込 (年次集会ホームページより申込)	4月15日(金)	8月14日(日)
宿泊申込	4月15日(金)	7月20日(水)
ランチョンセミナー事前申込	5月20日(金)	7月20日(水)

※定員制の場合は、定員に達し次第締め切らせていただきます。



# 1. 会頭挨拶

## 第31回日本外来小児科学会年次集会 開催にあたり



第31回日本外来小児科学会年次集会  
会頭 稲光 毅  
(いなみつこどもクリニック)

第31回日本外来小児科学会年次集会を2022年8月27日(土)、8月28日(日)に福岡国際会議場、福岡サンパレスホテルにおいて開催します。

テーマは、「Community Pediatricsの実践を目指してークリニックで、地域で、健やかな育ちを支えるー」としました。日本では「地域総合小児医療」がCommunity Pediatricsとほぼ同義で使われています。外来診療の重きを、疾病の診療から健康な子どもの育ち・子育てを支える診療に移していくこと、さらには行政機関との連携により「クリニックを受診する子ども」の枠を超え、地域のすべての子どもの心身の健康増進に貢献、寄与する小児科を目指すことをテーマに込めています。

コロナ禍は、皮肉なことに感染症が減ることによる受診者数の減少という深刻な影響を外来小児科にもたらしました。今、注目されているBiopsychosocialな視点をもって実践するCommunity Pediatricsは、ポストコロナに外来小児科が活躍すべき領域であると言えます。自院でもやれる、やってみたくなる情報を共有する会にしたいと考えています。

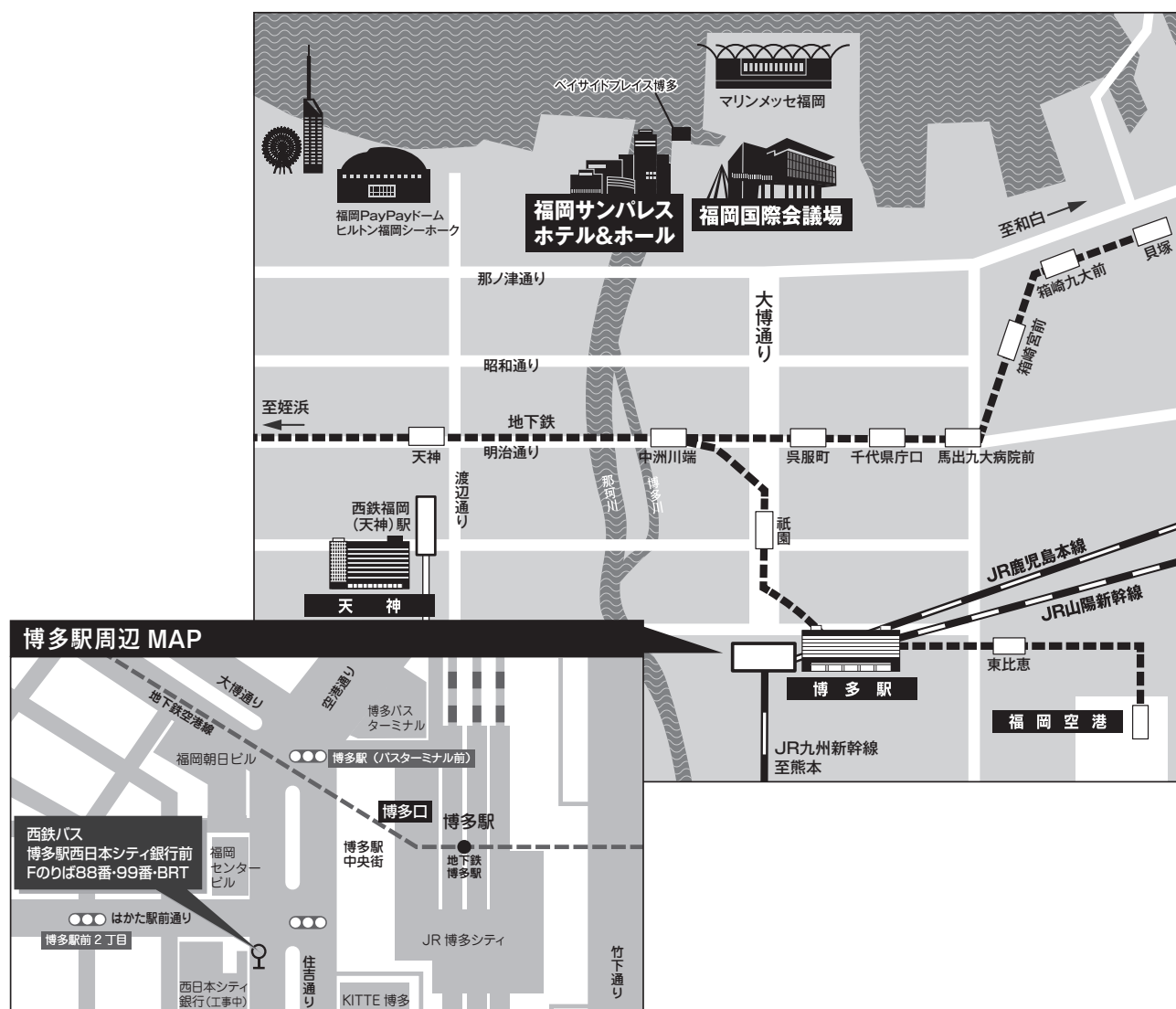
もう1つ、外来小児科学会の大きな特徴として、メディカルスタッフの参加があります。「メディカルスタッフとともにクリニックを創る」を念頭に、外来小児科学会の継続性としてワークショップ、オープンクリニックネットワーク、院内報ネットワーク、こどもどこセミナーなどを企画します。

新型コロナウイルス感染症の現状に鑑みハイブリッド方式で開催することを決定しました。今年こそは皆様と直接にお会いし、旧交を温め合う機会になることを期待しています。多くの皆様と福岡でお会いできることを楽しみにしています。

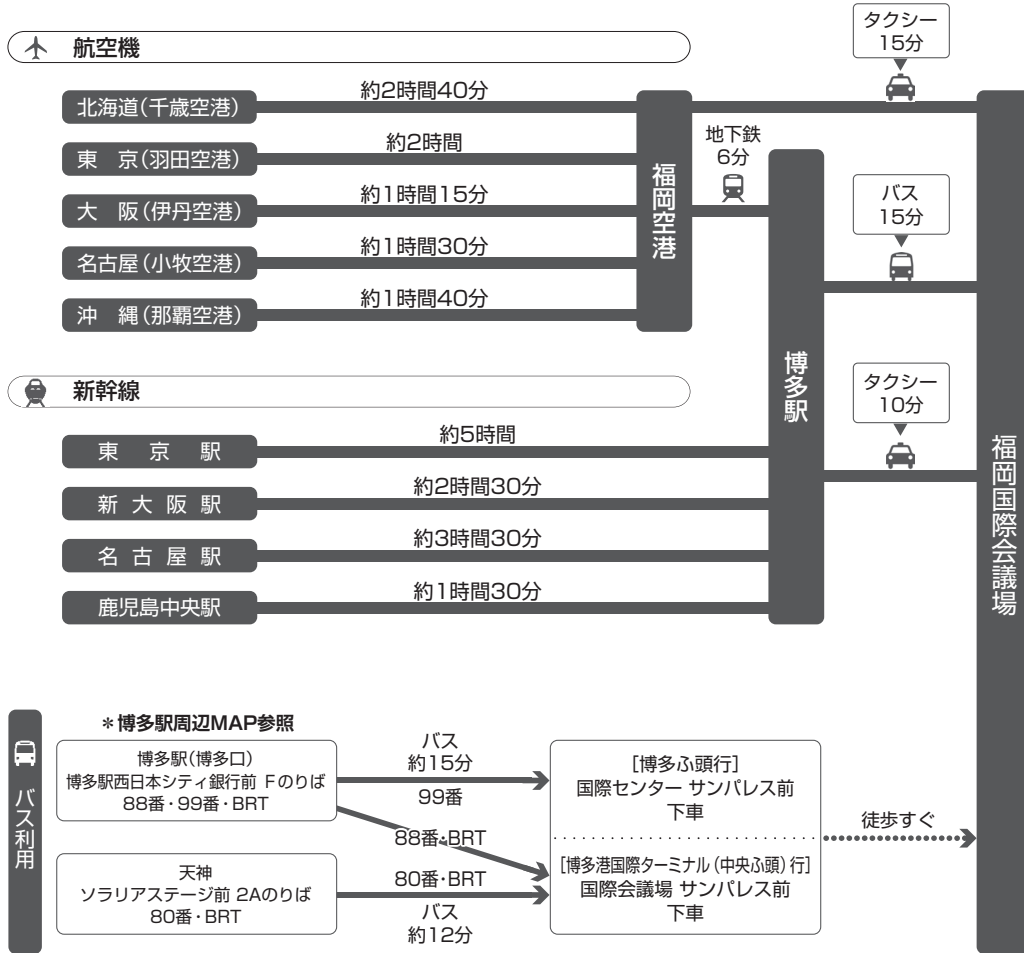
## 2. 年次集会概要

テーマ	<b>Community Pediatricsの実践を目指して ークリニックで、地域で、健やかな育ちを支えるー</b>
会期	2022年8月27日（土）～8月28日（日）
開催方法	現地開催およびライブ配信、オンデマンド配信 (配信対象プログラムは決定後にお知らせします)
会場	福岡国際会議場／福岡サンパレスホテル
会頭	稲光 毅 (いなみつこどもクリニック)
事務局長	中山 英樹 (桜坂なかやまこどもクリニック)
プログラム委員長	牟田 広実 (いづかこども診療所)
年次集会ホームページ	<a href="https://site2.convention.co.jp/31sagpj/">https://site2.convention.co.jp/31sagpj/</a>

## 3. 会場アクセス



## 福岡国際会議場へのアクセス



## 西鉄バス詳細情報

### 【福岡国際会議場行】

- 博多駅（博多駅西日本シティ銀行前Fのりば発）
  - ※所要時間 約15分
  - 99番 : 「博多ふ頭」行 → 「国際センターサンパレス前」下車
  - 88番・BRT : 「博多港国際ターミナル(中央ふ頭)」行 → 「国際会議場サンパレス前」下車
- 天神（天神ソラリアステージ前2Aのりば発）
  - ※所要時間 約12分
  - 80番・BRT : 「博多港国際ターミナル(中央ふ頭)」行 → 「国際会議場サンパレス前」下車
- 西鉄バスは、全国すべての交通系ICカード  
(PASMO, Suica, ICOCA, Kitaca, TOICA, SUGOCA 等)をご利用いただけます



PASMO



Suica  
(JR東日本)



ICOCA  
(JR西日本)



Kitaca  
(JR北海道)



TOICA  
(JR東海)



SUGOCA  
(JR九州)

# 4. タイムスケジュール

※本会は、現地開催およびライブ配信、オンデマンド配信を予定しております。配信対象のプログラムは決定後に年次集会ホームページにてご案内いたします。

8月27日(土)

※LS：ランチョンセミナー WS：ワークショップ

施設	階	会場名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
				30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
福岡国際会議場	3F	講演会場1 (メインホール)		特別シンポジウム			LS1	全体集会	特別講演		シンポジウム		
	2F	講演会場2 (203多目的ホール)	開会式	セミナー			LS3				シンポジウム		
		講演会場3 (204多目的ホール)		一般演題			LS4				シンポジウム		
	4F	講演会場4 (409+410中会議室)		一般演題			LS5				シンポジウム		
		講演会場5 (411+412中会議室)		一般演題			LS6				WS-1		
		講演会場6 (413+414中会議室)		一般演題			LS7				ハンズオンセミナー (吸入手技、スパイロメトリー)		
	5F	講演会場7 (501国際会議室)		シンポジウム			LS2				シンポジウム		
		講演会場8 (502+503中会議室)		教育講演 (小児科領域講習)	教育講演 (小児科領域講習)		LS8			教育講演	倫理講習会 (専門医共通講習)		
	4F	ワークショップ会場1 (401小会議室)									WS-2		
		ワークショップ会場2 (402小会議室)									WS-3		
		ワークショップ会場3 (403小会議室)									WS-4		
		ワークショップ会場4 (404小会議室)									WS-5		
		ワークショップ会場5 (405小会議室)									WS-6		
		ワークショップ会場6 (406小会議室)									WS-7		
		ワークショップ会場7 (407小会議室)									WS-8		
	5F	ワークショップ会場8 (504+505小会議室)									WS-9		



8月28日(日)

※LS：ランチョンセミナー WS：ワークショップ

施設	階	会場名	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	
			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
福岡国際会議場	3F	講演会場1 (メインホール)	シンポジウム			LS9		セミナー	セミナー		閉会式		
	2F	講演会場2 (203多目的ホール)	セミナー			LS11	シンポジウム						
		講演会場3 (204多目的ホール)	第5回小児AMR対策セミナー (ワークショップ)			LS12	第5回小児AMR 対策セミナー (ワークショップ)	第5回小児AMR 対策セミナー	感染対策講習会 (専門医共通講習)				
	4F	講演会場4 (409+410中会議室)	シンポジウム			LS13	セミナー						
		講演会場5 (411+412中会議室)	シンポジウム			LS14	ハンズオンセミナー (食物経口負荷試験)						
		講演会場6 (413+414中会議室)	ハンズオンセミナー (新起立試験)			LS15	スポンサードハンズオンセミナー (スキンケア)						
	5F	講演会場7 (501国際会議室)	シンポジウム			LS10	シンポジウム						
		講演会場8 (502+503中会議室)	教育講演 (小児科領域講習)		教育講演 (小児科領域講習)	LS16	こどもどこセミナー						
	4F	ワークショップ会場1 (401小会議室)	WS-10					WS-19					
		ワークショップ会場2 (402小会議室)	WS-11					WS-20					
		ワークショップ会場3 (403小会議室)	WS-12					WS-21					
		ワークショップ会場4 (404小会議室)	WS-13					WS-22					
		ワークショップ会場5 (405小会議室)	WS-14					WS-23					
		ワークショップ会場6 (406小会議室)	WS-15										
		ワークショップ会場7 (407小会議室)	WS-16										
	5F	ワークショップ会場8 (504+505小会議室)	WS-17										
	福岡サンパレス ホール	2F	ワークショップ会場9 (平安)	WS-18									

## 5. 各種申込／募集要項

項目	申込開始日	申込締切日
事前参加登録	4月15日(金)	7月20日(水)
一般参加登録	7月21日(木)	8月28日(日)
一般演題募集	4月15日(金)	5月27日(金)
パネル展示募集	4月15日(金)	5月27日(金)
患者家族の会・支援者の会募集	4月15日(金)	5月27日(金)
ワークショップ参加申込	4月25日(月)	5月27日(金)
ハンズオンセミナー申込	4月25日(月)	5月27日(金)
小児 AMR 対策セミナー参加申込	4月25日(月)	5月27日(金)
こどもどこセミナー参加申込 (年次集会ホームページより申込)	4月15日(金)	8月14日(日)
宿泊申込	4月15日(金)	7月20日(水)
ランチョンセミナー事前申込	5月20日(金)	7月20日(水)

※定員制の場合は、定員に達し次第締め切らせていただきます。

### 参加登録

**事前参加登録：4月15日(金)～7月20日(水)**

**一般参加登録：7月21日(木)～8月28日(日)**

区分	事前参加登録	一般参加登録
医師・歯科医師・一般(会員)	13,000円	15,000円
医師・歯科医師・一般(非会員)	14,000円	16,000円
メディカルスタッフ(会員)	7,000円	9,000円
メディカルスタッフ(非会員)	8,000円	10,000円
初期研修医	2,000円	2,000円
学生(大学生・専門学校生)	無料	無料
プログラム・抄録集	2,000円	現地販売

- ◎ 年次集会ホームページ「参加登録」よりお申し込みください。
- ◎ 「学生」の方は学生証のデータを、初期研修医の方は所定の申請書をアップロードしてください。提出のない場合は「一般」の区分になります。看護学生であっても、医療機関で勤務しているスタッフは「メディカルスタッフ」の区分になります。
- ◎ 今回の年次集会では「小児科に関わる職種のうち、医師以外のスタッフ」をメディカルスタッフと表現しています。
- ◎ 会員の皆様には学会誌としてプログラム・抄録集を事前にお送りいたします。  
非会員でプログラム・抄録集が必要な方は、事前参加登録時に併せてご購入ください。事前に送付いたします。一般参加登録の方は当日会場にてご購入ください。

### 【認定単位について】

本会への参加で、以下の認定単位が取得可能です。

日本小児科学会 専門医認定研修会	1単位
日本小児科医会 地域総合小児医療認定医制度	5単位
日本小児神経学会 小児神経専門医制度認定研修会	2単位

その他の単位については、年次集会ホームページでお知らせします。

### ワークショップ参加申込

申込期間：4月25日（月）～5月27日（金）

### 【ワークショップ 開催日時】

- ①8月27日（土）15：00～17：30
- ②8月28日（日）9：00～11：30
- ③8月28日（日）13：00～15：30

※各ワークショップの内容はP.11以降をご覧ください。

### 【申込の際の注意事項】

- ・ワークショップの参加申込には、参加登録が必要です。参加費の決済完了後にお申し込み可能となります。
- ・ワークショップの参加申込は、**オンライン配信サイト内から行っていただきます。**  
オンライン配信サイトへログインいただき、サイト内にある申込フォームからお申し込みをお願いいたします。
- ・同じ時間帯に開催されるワークショップに同時に複数お申し込みをすることはできません。
- ・ワークショップは途中入室／退室ができません。
- ・定員に達した場合はその時点で申し込みを締め切りますが、キャンセルが発生した場合には再度申し込み可能な状態になります。
- ・当日参加「可」の場合でも、事前に定員に達した場合は当日の申し込みはできません。
- ・当日参加「不可」の場合でも、定員に空きがある場合は当日参加可能になる可能性があります。

### 一般演題募集

演題募集期間：4月15日（金）～5月27日（金）

日常診療における取り組みや現在進行形の研究に関する演題も大歓迎です。

ご発表いただいた一般演題の中から、優秀演題が選出されます。

会頭・実行委員で構成する選考委員会で審査し、「最優秀賞」を閉会式にて表彰いたします。

### 【募集要項】

登録可能な演者数：20名まで（筆頭演者含む）

登録可能な所属施設：最大10施設まで

演題名：全角60文字以内

抄録本文：全角800字以内

※詳細は年次集会ホームページをご確認ください。

### 【発表形式について】

一般演題の発表形式は原則として口演（PC形式）とポスター発表の両方の予定をしております。

ただし応募演題が多数の場合にはポスター発表のみをお願いする場合があります。

ポスター発表のみを希望される場合には応募時にお申し出ください。

### 【会場で発表できない場合の対応について】

現地の会場へお越しいただくことが難しい場合は、口演の代わりとなる発表動画（PowerPoint等で音声を収録したもの）を事前にご提出ください。

ポスターについては、会場までお送りいただきましたら運営事務局にて掲示いたします。

動画の提出期限や、ポスター発送等についての詳細は年次集会ホームページにて公開いたします。

### パネル展示募集

**募集期間：4月15日（金）～5月27日（金）**

年次集会ホームページよりお申し込みください。

#### 1. 院内報（誌）の展示

各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。

#### 2. 医療保育ネットワーク等の展示

外来診療の場での、保育士 他のみなさんのご活躍をご紹介ください。

### 患者家族の会・支援者の会紹介・展示募集

**募集期間：4月15日（金）～5月27日（金）**

年次集会ホームページよりお申し込みください。

### ランチョンセミナー申込

**申込期間：5月20日（金）～7月20日（水）**

#### 【申込の際の注意事項】

- ・ランチョンセミナーの申し込みには参加登録が必要です。参加費の決済完了後にお申し込み可能となります。
- ・ランチョンセミナーの申し込みは、**オンライン配信サイト内から行っていただきます。**  
オンライン配信サイトへログインいただき、サイト内にある申込フォームからお申し込みをお願いいたします。
- ・1日あたり1つのセミナーしかお申し込みできません。
- ・各ランチョンセミナーの内容は5月中旬を目処に年次集会ホームページにて順次公開いたします。

### 懇親会について

感染症拡大防止の観点から、懇親会の開催はございません。

### 託児サービスについて

感染症拡大防止の観点から、予定しておりました託児の受付については中止とさせていただきます。

### お問合せ先

第31回日本外来小児科学会 運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社 九州支社内

TEL: 092-712-6201（平日 9:30～17:30）

E-mail: 31sagpj@convention.co.jp

## 6. ワークショップ一覧

8月27日(土) 15:00～17:30

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-1	子どもの心のサインを読みとるーロバートソン・フィルムを教材にしてーその5	松原 徹	40
WS-2	デイリーハドルしませんか？	宇梶 光大郎	20
WS-3	外来看護のなかの「気になる場面」や「もやもやしていること」ありませんか？ ー倫理的な視点で話しましょうー	古屋 千晶	20
WS-4	子どもの貧困に気づき支援するために part6	和田 浩	20
WS-5	Baby-Led Weaning (赤ちゃん主導の離乳) を学ぶ	江田 明日香	20
WS-6	プライマリケアに役立つ漢方薬の使い方 ～思春期の問題について～	坂崎 弘美	20
WS-7	災害対策、どうしてますか	矢嶋 茂裕	20
WS-8	いかにHidden Concernを引き出すか ～ Advocacyの視点から～	利根川 尚也	20
WS-9	労務管理で困っていませんか？ ～あなたの疑問に社労士がズバリお答えします～	黒川 美知子	30

8月28日(日) 9:00～11:30

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-10	医業継承・閉院の実際と対処すべき多くの問題点	村上 直樹	20
WS-11	受動喫煙は見える！～子ども達を守るために～	野田 隆	20
WS-12	小児科外来における家族対応を考えよう	涌水 理恵	20
WS-13	みんなで考えよう！保護者の心に届く伝える力 ～クリニックの強みを最大限いかして～	野村 さちい	20
WS-14	授乳と補完食に関するワークショップ2022	瀬尾 智子	20
WS-15	親と子への服薬支援 その6 ～くすりの飲ませ方基本の“き” 飲ませ方のHow-Toを学ぶ～	上荷 裕広	20
WS-16	やってみよう プレママ育児講座	三田 智子	16
WS-17	職場をもっと幸せに「みんなで考える人事考課」	池澤 千恵子	30
WS-18	小児科医が行う切れ目のない子育て支援 ～産後ケア、予防接種、健診、病児保育、在宅支援、子ども食堂 等～	秋山 千枝子	40

8月28日(日) 13:00～15:30

WS番号	テーマ	リーダー名	定員
WS-19	外来小児科における心理職の活用	芦谷 将徳	20
WS-20	ワクチンリテラシー (感染症と予防接種の教育)	落合 仁	15
WS-21	小児救急電話相談から学ぶ電話の対応	福井 聖子	20
WS-22	絵カードを用いた発達障害の児への服薬支援	松本 康弘	20
WS-23	コロナパンデミックを契機とした一般外来における感染症対策を考える	松浦 伸郎	20

WS-1		子どもの心のサインを読みとる ーロバートソン・フィルムを教材にしてーその5
[リーダー]	松原 徹 (城東こどもクリニック)	
[サブリーダー]	澤田 敬 (NPO 法人カンガルーの会)	
	新津 直樹 (新津小児科)	
	藤田 一郎 (福岡女学院大学)	
	赤平 幸子 (城東こどもクリニック)	
<p>5回目となるこのワークショップも今回で最後となります。ロバートソンフィルムとは愛着理論を確立したボウルビィの弟子であるロバートソン夫妻によって1950年代にイギリスで撮影された子どもの発達心理行動の研究のためのフィルムです。そこには2歳前後の子ども達が母親と分離され「自分に何が起きているのか分からない」戸惑いと不安が克明に記録されています。</p> <p>これまで「John」「Lusy」「Jane」「Kate」と視聴してきました。その子ども達はそれぞれが育ちや分離の状況も異なり、それぞれに異なる反応を見せます。ワークショップでは参加者一人一人が子ども達の不安や混乱に共感し、親子の愛着の重要性を理解してきました。今回視聴する「Thomas」は2歳4ヶ月の男児です。両親との分離期間はほんの10日間ですが、再接近期の子どもが抱える葛藤や複雑な心の動きを学べる貴重なフィルムです。</p> <p>トマスは体格の良い元気な男の子でした。人懐っこく、物怖じせず、お話しも上手でした。父親も母親も優しくはじめある子育てをし、トマスの気持ちをよく理解していました。トマスは幼いなりに母親と別れる理由を理解し、受け入れていました。里親家での生活は最初フレンドリーで遠慮しがちな雰囲気でしたが、里親に可愛がりたい気持ちと母親への忠誠心との葛藤で揺れました。里親であるロバートソンさんは人形を使って生まれたばかりの妹のことを説明しますが、その時のトマスはどんな反応を示すでしょう？</p> <p>これまでと同様、まず最初にフィルムを視聴し、その後幾つかのグループに分かれ、子ども達の仕草や表情から参加者それぞれが読み取った子ども達の心理状態や感じたことを話し合います。そして愛着にまつわる病理を理解し、日常の診療や保育、育児支援に大切な心のサインを一緒に再確認しましょう。</p>		
WSのタイプ	研修型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	40名	
当日参加	可	
参加費	なし	

WS-2		デイリーハドルしませんか？
[リーダー]	宇梶 光太郎 (うかじ小児科医院)	
[サブリーダー]	堤 康 (こでまり小児科クリニック)	
<p>Daily Huddle とは、毎朝の短い話し合いのことです。私は2019年2月の日本医療安全学会での辰巳陽一先生のご講演を拝聴し、初めてその言葉を知りました。メンバー同士で、思考、志向、価値観を共有するために、毎朝、始業前に行うインフォーマルなミーティングで、メンバー当番制で、自分のこと(自由に、個人的なこと、仕事のこと)を5分程度話し、10分程度意見を言い合う。それにより、メンバーの個人的な背景(ナラティブ)の相互理解を図ることで心理的安全性を目指すための手法で、医療安全の分野でも注目されています。朝の会で話す→医療安全、との短絡思考で、とにかく2019年7月から当院で始めてみました。なんだかんだと2022年3月時点でスタッフが順繰りに話すことは続いています。</p> <p>昨年の学会の熱血リレーでは、「スタッフの話聞いてみたら皆がめだかの姉妹だった件」と題して発表させていただきました。反響があったわけではないのですが、もっと広めたいと思い、仲間を募ることにしました。当院のスタッフで一番プレゼンが下手な私だけでは心もとないの、福岡のメディアを中心に活躍なさっておられるパーソナリティーの今村敦子さん(おススメ上手なのです)のお力をお借りして、聞き方話し方についてのレクチャーを1時間程度していただきまして、その後に参加の皆さんでグループに分かれてハドルする予定です。</p> <p>引込み思案の方でも大丈夫です。是非、参加をご検討ください！</p> <p>(注)「ハドル」とは元々アメフトの試合中にフィールド内で行われる「次はこれで行こう」という短い作戦会議のこのようです。</p>		
WSのタイプ	研修型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	20名	
当日参加	可	
参加費	1000円	

WS-3		外来看護のなかの「気になる場面」や「もやもやしていること」ありませんか？ －倫理的な視点で話しましょう－
[リーダー]	古屋 千晶 (順天堂大学 医療看護学部)	
[サブリーダー]	黒田 光恵 (自治医科大学とちぎ子ども医療センター)	
	及川 郁子 (東京家政大学)	
<p>現在医療現場では、子どもの立場に立って考える医療がなされています。しかし、親の意向や医療者の状況によって、必ずしも子どもの最善の利益が守られているとは言えないときがあると思います。どう支援していくか子どもと親、医療者それぞれの立場を考えると、正解があるわけではありません。2019年、外来看護師を対象に外来での倫理的配慮について調査しました。看護師は様々な状況で、子どもに寄り添った支援を実践していますが、卒後の倫理教育を受ける機会、倫理について考えたり話し合う機会の有無は、日常ケアの中での倫理実践や倫理的感受性に影響していることが明らかになりました。そこで現在私達は、各施設で継続的な看護倫理の学習会を行う事に取り組んでいます。これまでに、予防接種時のプレパレーション、外来での事故防止対策のテーマでワークショップを開催してきました。各施設で実践できる事故防止に関する学習会の企画書を作成するための知識や方法等を講義し、実際にグループで企画書を作成しました。また、2021年はWeb開催において子どもにかかわる中で気になる場面の動画を参加者が視聴し、倫理的に何が問題であるか意見交換をしました。今回は、外来やクリニックで子どもと家族にかかわる中で気になることや、もやもやしている場面、例えば、子どもは、予防接種に何も知らずにクリニックに連れてこられる、子どもに何も伝えられずに押さえて採血をする等、このような場面をどのように考えてそのもやもやの解決の方向を導きだしていけばよいか、一緒に話し合いたいと思います。最初に動画「気になる場面」の視聴をします。その後、考え方の基礎となる看護倫理について講義等を通して確認し、グループワークをします。グループワークでは外来看護の中で普段感じている気になることや、もやもやしていることについて話し合い最後に今後どのように行動していくか等を共有したいと思います。</p>		
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象
開催形式	会場参加のみ	看護師
定員	20名	
当日参加	不可	
参加費	なし	

WS-4		子どもの貧困に気づき支援するために part6
[リーダー]	和田 浩 (健和会病院)	
[サブリーダー]	佐藤 洋一 (和歌山生協病院)	
<p>子どもの貧困問題に心を痛め、「何かできることはないか」と考えている医療者は大勢います。しかし、実際には「医療現場では貧困は見えにくい」「貧困に気づいてもどうしたらいいかわからない」という声も多くあります。このワークショップは、そうした「貧困問題初心者」の方を主な対象に、レクチュアや事例検討を通じて「貧困を抱えた親子に気づけるようになる」「気づいた時にどんなことをしたらいいかのヒントがつかめる」ことを目標に開催します。医療現場で、子どもの貧困に気づき、支援するために様々な取り組みが行われており、私たち医療者にできることはたくさんあります。このWSに参加することで、あなたもきっと次の一歩が踏み出せると思います。(このWSは2010年問題解決型WS「子どもの貧困を考える」として始まり、当初は「どうしたら子どもの貧困が見えるようになるか」を中心に考えてきました。様々な経験が蓄積される中で、2016年から主に「初心者」を対象にした研修型WSとして開催しています。もちろん「初心者」でない方の参加も大歓迎です。)</p>		
WSのタイプ	研修型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加、Web併用	制限なし
定員	20名	
当日参加	可	
参加費	なし	

8月27日(土) 15:00～17:30

404小会議室

WS-5	Baby-Led Weaning (赤ちゃん主導の離乳) を学ぶ	
[リーダー]	江田 明日香 (かるがも藤沢クリニック)	
[サブリーダー]	山田 翔 (たけのやま歯科)	
	尾形 夏実 (湘南藤沢徳洲会病院)	
<p>イギリスで保健師の Gill Rapley とジャーナリストの Tracey Murkett により “Baby-Led Weaning: The Essential Guide to Introducing Solid Foods and Helping Your Baby to Grow Up a Happy and Confident Eater” という書籍が出版されて 14 年、同邦訳版が出版されて 2 年が経過した。</p> <p>Baby-Led Weaning (以下 BLW) は、赤ちゃんが主導する離乳法として国内でも受け入れられ、多くの方が実践するようになってきたが、その本質を理解し支援することができる医療従事者は未だ限られている。開始初期から「固形食」を「手づかみ」で食べるという BLW の考え方が、従来通りの「ピューレ」を「スプーン」で与える従来通りの離乳と大きく異なる方法であるように感じるという声も聞かれる。</p> <p>BLW は、固形食であることや、手づかみすることに本質があるのではない。その名の通り、「赤ちゃんが主導する」ことに真意がある。今回ワークショップを企画させていただく私たちも、その本質を真に理解できたのは書籍の著者である Gill Rapley と Tracey Murkett 両氏によるワークショップを受講したときであったように思う。このワークショップでは、いくつかのワークを通して「赤ちゃん主導」という BLW の根幹概念を学ぶ。小児科外来に携わる皆さんの離乳食支援に役立てていただければ幸いに思う。</p> <p>事前学習として動画見賞やオンラインミーティングなどの機会を設け、当日はワークを中心に進めたいと考えている。</p>		
WS のタイプ	研修型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	20 名	
当日参加	可	
参加費	500 円	

8月27日(土) 15:00～17:30

405小会議室

WS-6	プライマリケアに役立つ漢方薬の使い方～思春期の問題について～	
[リーダー]	坂崎 弘美 (さかざきこどもクリニック)	
[サブリーダー]	森 蘭子 (森こどもクリニック)	
	山田 進一 (山田こどもクリニック)	
<p>本 WS は、小児プライマリケアの現場において、漢方薬を使用するノウハウを習得することを目的としている。これまで扱った内容はアレルギー疾患、心身症、家族療法、風邪診療などである。前回の令和 3 年は、小児の睡眠の問題を取り上げ、漢方薬の使い方を学んだ。</p> <p>今回は、思春期の様々な問題をテーマに選んだ。思春期は、心も身体も大人へと成長していく過程で、アンバランスな状態にあり、心の辛さが身体症状として現れやすい時期である。漢方医学では「心身一如」と言って、心と身体はひとつのものとして診るという概念があり、思春期の問題に役立つことが多い。</p> <p>思春期に SOS を出してくる身体症状、頭痛、腹痛、倦怠感、めまい、不眠などの様々な不定愁訴に対して、漢方薬の使い方を学ぶ。また、思春期女子の月経関連トラブルに対しても漢方薬は役立つことが多い。あらかじめ、思春期に見られる症状に対して処方することの多い漢方薬について事前学習を行う。また、アンケートを行い、問題点をピックアップしディスカッションできるようにする。当日は、実際の症例に対し、処方選択についてグループ内でディスカッションし発表する。診療現場を想定して、問診、診察方法、西洋医学的疾患の除外などを学べるようにしたい。最終的には、参加者が、自分のレベルに合った漢方薬の使い方を習得し、各々がさらなる学習の継続につながる問題提起や課題を持ち帰ることができることを目標とする。</p>		
WS のタイプ	研修型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	医師
定員	20 名	
当日参加	不可	
参加費	なし	



WS-7	災害対策、どうしてますか	
[リーダー]	矢嶋 茂裕	(矢嶋小児科小児循環器クリニック)
[サブリーダー]	萱場 潤	(かやば小児科医院)
<p>台風、停電、水害などで診療が継続できなくなることがあります。個々の診療所としてはどこまでを想定して災害対策をすべきでしょうか。短時間の停電でもワクチンはダメになるかもしれません。しかし予備電源は費用対効果を考えて選択する必要があるでしょう。みなさんのアイデアを持ち寄って効果的に診療所の機能を維持する方策を考えましょう。さらには大規模災害を想定したアマチュア無線にもチャレンジしてみませんか。</p>		
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	20名	
当日参加	不可	
参加費	なし	

WS-8	いかにHidden Concernを引き出すか ～ Advocacyの視点から～	
[リーダー]	利根川尚也	(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
[サブリーダー]	岡本 茂	(洛和会音羽病院)
	伊藤 健太	(あいち小児保健医療総合センター)
	小橋 孝介	(松戸市立総合医療センター)
<p>患者や保護者のHidden Concern(うちに秘めた懸念、取り巻く問題など)を、時間の限られた医療面接で全て知ることは至難の業である。患者や保護者自身が、そもそも問題と認識していないことや、問題と認識していても解決する方法が無いと思いついていないこともあるので、心のうちを話してもらうだけではなく、医療者側から引き出す意識が必要である。第30回日本外来小児科学会年次集会ワークショップでは、「保護者への問診スキルアップ～Hidden Concernを引き出す～」を開催した。問診で重要なことは、「数多くある問診技法を網羅することを意識することではなく、問診技法を裏付ける心構えである」ということを、模擬症例を通して学んだ。本ワークショップでは、いよいよ問診技法について着目したい。日本小児科学会が提唱する小児科専門医の医師像の一つに「Advocacy」があり、「子どもや家族の代弁者として、様々な問題を認識し解決にあたること」を到達目標としている。Hidden Concernを引き出すことは、まさにAdvocacyの入り口といえる。本ワークショップのリーダーやサブリーダーも運営スタッフとして関わる「CHAT   Child Advocacy Training program」という、小児科専攻医向けのAdvocacyを学ぶプログラムがある。このプログラムでは、「Advocacyを知ること」を目標とし、症例検討を通して、患者情報を4つのカテゴリー「医学的な情報」「患者個人の情報」「家族の情報」「社会的な情報」に分類した後、解決すべき課題の抽出や整理、それらの解決方法を考えながら、Advocacyの多様性を学ぶ。本ワークショップでは、模擬症例の医療面接の実践を通して、この4つのカテゴリーを意識しながらどのようにHidden Concernを引き出していくのかについて、その方法論を学ぶ。</p>		
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	20名	
当日参加	不可	
参加費	なし	

8月27日(土) 15:00～17:30

504+505小会議室

WS-9		労務管理で困っていませんか？ ～あなたの疑問に社労士がズバリお答えします～	
[リーダー] 黒川 美知子 (くろかわみちこ小児科クリニック) [サブリーダー] 高岸 智也 (高岸小児科医院)			
クリニック経営において悩ましいのが労務管理である。雇用者側の悩みを事前アンケートで絞込み、それについての具体的な解決策を事例をもとにしながら講師にご講演いただく。今回は被雇用者をメンバーに加えずに忌憚のない意見交換ができる場としたい。また、雇用・解雇、休暇の与え方など労働基準法の基本についてもふれていただく予定。			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
開催形式	会場参加、Web併用	経営者(雇用者)	
定員	30名		
当日参加	可		
参加費	3000円		

8月28日(日) 9:00～11:30

401小会議室

WS-10		医業継承・閉院の実際と対処すべき多くの問題点	
[リーダー] 村上 直樹 (村上こどもクリニック) [サブリーダー] 佐々木 洋 (佐々木歯科) 中瀬 正治 (中瀬小児科)			
<p>本学会創設期頃には臨床医として佳境にあった会員も、現在は医業の終焉を模索する齢を迎えています。開業医であれば、次世代に継承可能な場合がある一方で、継承が叶わぬ状況ならば閉院せざるを得ません。本ワークショップの責任者3名は継承不可能で、対処すべき多くの課題を抱えながら困難を乗り越えざるを得ない立場にあります。</p> <p>2019年のWS「後継者がいない開業医(医院・診療所・クリニック)の継承問題」では、簡便な解決策であるM&amp;Aにも搾取や業者の選択の問題がある等、継承問題の解決には周到な準備と相当な労力の必要があることを確認しました。</p> <p>そこで本ワークショップでは、若干名のコメンテーターに加わっていただき、問題提起を披露の上、各人各様の困難への対応の実際を披露して戴く予定です。</p> <p>会計、財務、相続など財政上の問題は除外し、具体的な手続きについて検討します。まず個人的な経験から、避けられない項目を洗い出し開示します。</p> <p>廃業のための諸手続先を挙げると；</p> <p>1. 保健所 2. 地方厚生局 3. 税務署 4. 労働基準監督署・ハローワーク 5. 医師・歯科医師国保・社会保険事務所 6. 医師会・歯科医師会・B会員資格 7. 小規模企業共済などとなります。また、どの職種の国家資格を持つ事務職へ提出書類を依頼すべきかについて、判明した範囲で記します。簡単な原則は、提出書類の所轄官庁によって法律で規定されており、省庁をまたぐ書類作成は違法と見做されることです。都道府県や市町村の役所への書類は行政書士、登記などの法務局で申請する書類は司法書士、税金など金銭に関する税務署関連の書類は公認会計士、税理士です。雇用保険をはじめとする労務関係は、厚生労働省所轄の公共職業安定所、労働基準監督署に提出する書類は社会保険労務士となります。以上の点を踏まえて、WS参加の皆様との忌憚のない質疑応答をしたいと希望しています。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
開催形式	会場参加のみ	医師およびその配偶者	
定員	20名		
当日参加	可		
参加費	2000円(テキスト込み) または500円(テキスト無)		

WS-11		受動喫煙は見える！～子ども達を守るために～	
[リーダー] 野田 隆 (のだ小児科医院) [サブリーダー] 伊藤 裕子 (伊藤内科医院)			
<p>喫煙は喫煙者が能動的に吸う能動喫煙による使用者本人への影響だけでなく、喫煙者が排出したタバコの煙を非喫煙者が否応なしに吸い込んでしまう受動喫煙による他者への影響があります。受動喫煙はさらに喫煙者の姿が目視される直接受動喫煙と誰が排出したタバコ煙かは、分からずに吸い込んでしまう間接受動喫煙に分けられます。英語で表現すると Firsthand Smoking (能動喫煙)、Secondhand Smoking (直接受動喫煙)、Thirdhand Smoking (間接受動喫煙) です。近年ニコチンの代謝産物であるコチニンを計測することで、受動喫煙の見える化が進んできました。しかし、タバコの害は量依存的ではありません。加熱式たばこの宣伝のように、有害物質が90%減少しているから健康被害も90%減少するというわけではありません。同様に測定値が検出限界以下だから健康被害も起こらないとは言えないのです。本ワークショップでは、受動喫煙についての分かり易い総論をしたのち、受動喫煙の害を喫煙者に伝えるばかりでなくタバコを吸わない生活のすばらしさについても議論し、外来を訪れる喫煙者の性格を4つのパターンに分類して、どう声掛け支援をしていくかを実践するワークを行います。なんの予備知識もない人大歓迎です。家族や子どもにもできる禁煙支援を目指します。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型		対象
開催形式	会場参加のみ		制限なし
定員	20人		
当日参加	可		
参加費	なし		

WS-12		小児科外来における家族対応を考えよう	
[リーダー] 涌水 理恵 (筑波大学) [サブリーダー] 原田 慶子 (FIRST CLASS CAREER LAB)			
<p>小児科外来における家族対応を参加者全員でディスカッションし、討論する場を設ける目的で、今回ワークショップを企画した。2019年に日本全国で収集した実態調査から洗い出した代表的な4事例(事例1:感冒症状と喘鳴を伴う1歳半幼児に付き添った父親による暴言、事例2:予防接種を受ける小1男児からの暴力、事例3:待合室で落ち着きのない4歳男児と注意をしない母親、事例4:朝から嘔吐を繰り返す幼児を抱えた祖母からのハラスメントクレーム)について討論する予定である。1)このような状況になったのはなぜか、2)未然に防ぐために必要なことはなにか、3)既に状況が発生してしまったら、どのような対応をすればよいかについて4つの事例ごとに討論を行った後、望ましい対応の在り方についても参加者間で話し合ってもらい、具体的なイメージを共有できるよう登場人物のキャストイングを行って、参加者の中でロールプレイを実施・披露する。トラブル対応で傷ついたスタッフに対するピアフォローなどについての意見交換も行う。</p> <p>参加者にはアンケートでWS内容の満足度とWS評価、WS内容を今後の業務に活かそうかについての自由記載を依頼します。</p> <p>本WSは、現実に起こりうる日常診療での家族対応について心構えができるようなWSになっております。職種は問いません。皆様のご参加をお待ちしています。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型		対象
開催形式	会場参加のみ		制限なし
定員	20名		
当日参加	可		
参加費	なし		

8月28日(日) 9:00～11:30

404小会議室

WS-13		みんなで考えよう！保護者の心に届く伝える力 ～クリニックの強みを最大限いかして～	
[リーダー] 野村 さちい (一般社団法人 つながるひろがる子どもの救急) [サブリーダー] 鈴木 研史 (竜美ヶ丘小児科) 尾崎 幸代 (竜美ヶ丘小児科)			
<p>クリニックの看護師や事務スタッフは保護者に情報を伝える機会が多くある。予防接種のスケジュールや、ホームケア指導など内容は些細なものから重要なものまで多岐にわたる。それに加え、この数年は新型コロナウイルス感染症への対応で、診療の受付方法やそれに伴う留意点などさらに伝える機会は増えている。時には保護者に対して、「ちゃんと伝えたのに、なんで伝わってないの?」、「なんか怒っている?」、「前にも同じ説明したのに」、などネガティブな感情を抱くこともあるのではないかと。</p> <p>本ワークショップでは、単に“言った、話した”ではなく、誤解なく保護者が理解し、行動できるように伝えていくためにどうしたらよいかを学ぶ機会としたい。</p> <p>よくあるクリニックでの事例をもとに、ロールプレイを行い、自身の伝え方や陥りやすい傾向を見つける機会としたい。またディスカッションを通し明日から使える伝え方を習得できることを目標とする。</p> <p>グループワークでは同じ職種同士で交流し、日頃の悩みや疑問を積極的に話し合う時間を取り入れながら有意義な時間としたい。</p> <p>クリニックの看護師の方、事務スタッフの方、保護者に届く伝え方を一緒に楽しく学びましょう。</p>			
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ	対象	
開催形式	会場参加のみ	看護師、事務スタッフ	
定員	20名		
当日参加	可		
参加費	なし		

8月28日(日) 9:00～11:30

405小会議室

WS-14		授乳と補完食に関するワークショップ2022	
[リーダー] 瀬尾 智子 (緑の森こどもクリニック) [サブリーダー] 岡田 清春 (おかだ小児科医院) 江田 明日香 (かるがも藤沢クリニック)			
<p>乳幼児の栄養は成長発達の基礎です。小児科診療の場では、養育者から乳幼児の授乳や補完食について尋ねられることがしばしばあります。しかし、臨床家が拠り所にできる科学的かつ実践的で、商業的な影響を受けていない適切な情報はまだまだ少ないのが現状です。2017年の年次集会で始まった「離乳食を科学的に語ろう!」というワークショップを皮切りに、SIG、シンポジウムとディスカッションの場をこれまで重ねてきました。</p> <p>今回は「授乳と補完食に関する検討会」が発足したことを踏まえて、原点に戻ってワークショップを開催します。はじめに、歯科医師の視点からの「乳幼児の食行動の発達」について話を聞きます。その後、持ち寄りケースに関するディスカッションを行います。参加者が経験したケースから、授乳と補完食に対する支援のヒントを探ります。</p> <p>「授乳と補完食に関する検討会」のミッションは、様々な情報を批判的に吟味し、小児科診療の場で役に立つ情報を発信することです。今回は「上から目線」の情報ではなく、現場から上がってくる疑問や実践報告を聞き、どのような情報が必要とされているかを明らかにして、今後の活動に役立てます。</p> <p>ワークショップ参加者は1施設2名までとし、原則、会場参加とします。ケース提示を希望する方は、あらかじめワークショップ・リーダーにお知らせください。(発表は必須ではありません) 参加対象は、医師・歯科医師ですが、同一施設からの参加者(他職種)はもう1名可です。(1施設からは医師・歯科医師を含め2名まで)</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
開催形式	会場参加のみ	医師・歯科医師および、同一施設からの参加者はもう1名可。(1施設からは医師・歯科医師を含め2名まで)	
定員	20名		
当日参加	可		
参加費	なし		

8月28日(日) 9:00～11:30

406小会議室

WS-15		親と子への服薬支援 その6 ～くすりの飲ませ方基本の“き” 飲ませ方のHow-Toを学ぶ～	
[リーダー]	上荷 裕広	(すずらん調剤薬局)	
[サブリーダー]	仙敷 義和	(信栄調剤薬局)	
	齋藤 栄二	(あおば薬局)	
	三浦 哲也	(三浦薬局)	
<p>小児科外来において服薬を拒む患児への対応は、小児科医療に携わる私たちにとっては不変の課題である。小児への薬の飲ませ方については、当学会にて25年以上前からテーマを変えながらワークショップにて取り組んできたが、ここ5年間は基本的な飲ませ方よりも、経験者のさらなるスキルアップを目指してアドバンス型のワークショップとして、服薬を嫌がった時の親と子への指導や支援を中心に、アセスメントや動機づけ、カウンセリングなど高度な手法を考えることを主として行ってきた。</p> <p>そこで今回は、小児への薬の飲ませ方についての基本を見直し、参加者の新たな経験を取り入れながら一緒に学んでいただけるWSを開催したい。小児科クリニックや処方箋を応需する薬局に勤務して勤務経験が浅い方(3年未満)を対象に、飲ませ方について疑問に答えると共に、今まで私たちが培ってきた飲ませ方のHow-Toや保護者への指導方法など、テクニックを中心とした手法を研修型のWSにて学んでいただき、明日からの診療に役立つスキルを獲得していただくことを目指したい。また当学会WS発信となる、簡単な小児への服薬指導ガイドライン基本編をプロダクトとして作成したい。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型		対象
開催形式	会場参加、Web併用		所属施設での勤務経験が3年未満 職種は制限なし
定員	20名		
当日参加	可		
参加費	なし		

8月28日(日) 9:00～11:30

407小会議室

WS-16		やってみよう プレママ育児講座	
[リーダー]	三田 智子	(パルモこども診療所)	
[サブリーダー]	堀場 映子	(松野こどもクリニック)	
	村山 恵子	(げんきこどもクリニック)	
<p>初産妊婦さんの最大の関心事は自身のお産で産後の赤ちゃんとの暮らしのイメージは漠然としています。産後はよく泣く赤ちゃんに戸惑い悩み気持ちが暗くなってしまうことも珍しくありません。1か月健診で出会う新米ママが生き生きとして欲しい、そんな思いで静岡市小児科医会は行政との協働で10年余り前からプレママ育児講座を行ってきました。元々は各地で同様の活動を行っている小児科医と情報交換しスキルアップを図りたいという目的でWSを立ち上げましたが、昨年のWSでは行政との協働方式は少なく、クリニック単位での講座を目指す方が現実的な地域が多いことも分かりました。今回は行政と協働方式とクリニック単位の二つの方式でそれぞれの実施にはどのような手立てや準備が必要か、実現への障害は何かを話し合います。講座の目的とお伝えする内容など具体的な事柄を検討しプロダクトを作り最初の育児支援の実践となる事を目指します。withコロナのいまは妊産婦や慣れない子育て中の親の孤立は深刻です。こんな時だからこそ子育ての最初期を支える取り組み、新米ママが赤ちゃんのお世話に向き合いふれあうことに喜びを感じ、安心して過ごすサポートとしてプレママ育児講座の輪を広げたいと考えております。この取り組みにご賛同いただける多職種の皆様の参加をお待ちしております。</p>			
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ		対象
開催形式	会場参加のみ		制限なし プレママ育児講座を実践したい方、プレママ育児講座に興味を持たれた方
定員	16名		
当日参加	不可		
参加費	なし		

WS-17		職場をもっと幸せに「みんなで考える人事考課」	
[リーダー] 池澤 千恵子 (いけざわこどもクリニック) [サブリーダー] 辻 真弓 (辻医院) 池澤 真子 (いけざわこどもクリニック)			
<p>開業医は、また職場における役職者は、職員への望みや理想を持っていると考える。「ここさえ直してくれたら」「もっとこうして欲しい」その気持ちは職員に正しく伝わっているだろうか。また職員が自ら人事考課を作るとしたら職員はどんな評価を望むだろう。それぞれの施設の人事考課をシェアし合い、もっと成長できるより良い職場作りを目指す。</p> <p>また多種多様なダイバーシティの時代において、人事考課で気をつけるべきはどんなことだろう。</p> <p>進め方</p> <p>① 医師(経営側)と職員の人数をバランスよく配置しグループを作る。5人x6</p> <p>② 人事考課を実際に行なっている施設をバランスよく配置する。</p> <p>③ 人事考課を行なっている施設に、行う時期、その行い方、面談時間や方法についてパワポを使用し発表していただく。発表している間、一人一人がチャットのように付箋で疑問や意見、あれば問題点を書く(5施設ほど集めたい)1時間</p> <p>④ 付箋の記録をもとに問題点をグループで話し合う。現場で働く職員は自分達のどこを評価して欲しいのか、実際に人事考課に反映できる項目があるかも検討する。</p> <p>⑤ グループごとに発表しそれぞれの施設の人事考課の参考にする。</p>			
WSのタイプ	問題解決型	対象	
開催形式	会場参加のみ	院長、看護師長、主任など役職者	
定員	30名		
当日参加	可		
参加費	なし		

WS-18		小児科医が行う切れ目のない子育て支援 ～産後ケア、予防接種、健診、病児保育、在宅支援、子ども食堂等～	
[リーダー] 秋山 千枝子 (あきやま子どもクリニック) [サブリーダー] 三平 元 (ひがしまつど小児科) 松下 亨 (松下こどもクリニック) 佐藤 好範 (さとう小児科医院) 金子 淳子 (金子小児科)			
<p>2020年より始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、私たち小児科診療は大きな変化を余儀なくされました。感染症は激減し、受診が減り経営を圧迫しました。しかしながら、コロナ禍で窮屈な思いをしている親子に対し、小児科診療の役割を再認識することになりました。その役割とは、これまで一般診療と共に培ってきた子育て支援です。先人たちの小児科診療ならではの子育て支援の取組が数多くあります。本WSでは、小児科診療が行う子育て支援を集め、そして共有し、各地に広げていくことを目的にしたいと思えます。もちろん、紹介する子育て支援の全部が一人でできるわけではなく、その地域や診療所、人材によって様々な取り組み方があることでしょう。もちろん、今回集まる子育て支援は小児科医としていつも行ってほしい子育て支援と、またその人ならではの特徴ある子育て支援が混在するかもしれませんが、小児科診療における子育て支援の技術の底上げになることは間違いないと確信します。</p> <p>今回、子育て支援として取り上げる事業は下記の6つです。</p> <p>① 産後ケア事業(担当:秋山千枝子) ② 予防接種の場面における子育て支援(担当:三平元) ③ 乳幼児健診の場面における子育て支援(担当:松下亨) ④ 病児保育(担当:佐藤好範) ⑤ 在宅支援・児童発達支援事業(担当:宮田章子) ⑥ 子ども食堂(担当:金子淳子)</p> <p>実際に取り組んでいる方の子育て支援に資する相談対応、必要な情報の提供及び助言、関連機関との連携などの情報交換や、これから取り組みたい方の情報収集や相談の場となり、WS後も交流や相談できる体制ができればと考えています。奮ってご参加ください。</p> <p>これまでの医療は疾患主体でしたが、これからは精神的及び社会的な面にも目を向けていく必要があります。子育て支援はその機会となりえ、これからさらに小児科診療の大きな柱となっていくものと思われまます。</p>			
WSのタイプ	問題解決型と研修型の混合型	対象	
開催形式	会場参加、Web併用	制限なし	
定員	40名		
当日参加	可		
参加費	なし		

WS-19	外来小児科における心理職の活用	
[リーダー] 芦谷 将徳 (福岡大学) [サブリーダー] シャルマ紗花 (福岡大学筑紫病院)		
<p>近年、外来小児科や心理職を取り巻く状況に変化が起きています。2015年に公認心理師法が成立し、公認心理師という国家資格が誕生しました。2018年の診療報酬の改訂では、「小児特定疾患カウンセリング料」の算定が可能となるなど、外来小児科における心理職が少しずつ求められてきていると考えられます。加えて、昨今の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、診療体制や心理職の活動へ与える影響も大きかったのではないのでしょうか。</p> <p>しかし、外来小児科における心理職は数が少ないため、個々の職場で様々な工夫をしながら業務にあたっており、心理職同士でその工夫の共有も難しい状況の中で活動していると推測されます。</p> <p>そこで、本ワークショップでは、公認心理師や臨床心理士、臨床発達心理士などの職種を「心理職」として捉え、外来小児科における心理職の業務や役割の現状の共有、ニーズや課題について参加者と考えて参ります。具体的には、「外来小児科における心理職の取扱説明書」の作成を目指します。業務や役割、課題等について事前アンケートを行い、ワークショップ当日にはグループワーク、全体へのシェアリングを通して、心理職の業務や役割についてより良く知ってもらえるような「取扱説明書」を作成したいと考えています。</p> <p>また、心理職について関心はあるが知る場が少ないというクリニックの方々や、心理職を雇用されていないクリニックの方々にもご参加いただき、心理職について知っていただくと共に診療場面での心理職のニーズについてご意見を頂けたらと思います。コロナ禍における苦労や工夫についても、参加者の皆様と共有しながら進める予定です。</p>		
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加のみ	制限なし
定員	20名	
当日参加	可	
参加費	なし	

WS-20	ワクチンリテラシー(感染症と予防接種の教育)	
[リーダー] 落合 仁 (落合小児科医院、日本外来小児科学会予防接種委員会) [サブリーダー] 中村 豊 (ゆたかこどもクリニック、日本外来小児科学会予防接種委員会)		
<p>コロナ禍の今、感染症ということばを身近に耳にすることが多くなりました。受診控えから予防接種控えも問題になっています。この時期こそ感染症、予防接種を正しく理解する時期と考えます。会員の皆様は日頃からワクチン接種の啓発を母子保健、小児保健それぞれの立場で実践されていると思われます。日本外来小児科学会の予防接種委員会では過去に小中学校の保健教育の教科書で感染症と予防接種に関する記述がほとんどないことを確認しました。今後、地域の次世代を担う子どもたちに正確な情報を伝えることが子どもたちの健康を守ることに結びつくと考えます。委員会では予防接種を考えるきっかけとなる教材を作成、現在、普及にむけ努力しております。今回のWSでもご紹介申し上げます。併せて、学会会員の方々が実践しておられる養育者への啓発と子どもたちに予防接種の基本である個人を守り集団を守り次の世代を守る、また、予防接種を受けられない人を感染症から守るということを伝えるため、感染症の予防の重要なツールの一つである予防接種に関して子どもたちに考えてもらう上での課題を皆さんと考えていきたいと思っております。</p> <p>注：令和4年3月現在小児のコロナワクチンに関して小児科医の中でも意見の隔たりがあり今回話題にあげない予定です。</p>		
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加、Web併用	医師
定員	15名	
当日参加	可	
参加費	なし	

WS-21		小児救急電話相談から学ぶ電話の対応	
[リーダー] 福井 聖子 (NPO 法人小児救急医療サポートネットワーク) [サブリーダー] 宮下 佳代子 (大阪市立大学大学院看護学研究科)			
<p>近年 WEB 問診システムの導入なども進んでいるようで、電話は相談希望の使用に限られてくる日も近いのではないかと思います。一方現状として、WEB システムを導入されていないクリニックでは、COVID-19 感染を受けてまず電話を選択する保護者が増えていると考えられます。予め受診予約と相談を振り分けるようにしていない場合、電話では会話が始まらないと単なる問い合わせか相談かわかりません。相談も内容はさまざま、受診患者の保護者でも、声だけの対応に戸惑うことはよくあるのではないのでしょうか。</p> <p>保護者もスタッフも日常的に電話を利用する頻度が減り、電話での会話を不得手とする人も増えた印象があります。WS では、電話を介する会話と顔の見える会話の印象の違いを体験し、電話の会話の注意点を学ぶと共に、保護者の立場に立って話をよく聴くことの大事さとスキルを考えます。また、クリニックの方針を整理して共有することも電話対応に際して重要なポイントになります。</p> <p>電話の対応がスムーズになるとクリニックのイメージアップにもなり、聴き取った内容は保護者への指導の一環として重要な役割を果たすなど、日常診療にも良い影響を及ぼします。</p> <p>昨年度はオンラインで開催したため、参加者同士の意見交換を通して考えるスタイルを取れなかったのですが、今年はグループワークで意見交換するなかで、視野を広げ、自ら語ることで学びにつなげる予定です。</p>			
WS のタイプ	研修型ワークショップ	対象	
開催形式	会場参加のみ	制限なし	
定員	20 名		
当日参加	不可		
参加費	1500 円		

WS-22		絵カードを用いた発達障害の児への服薬支援	
[リーダー] 松本 康弘 (ワタナベ薬局上宮永店) [サブリーダー] 木下 博子 (大分こども病院) 金原 洋治 (かねはら小児科)			
<p>発達障害を持つ児は医療現場において様々なトラブルを起こす。特に、薬物治療を行う際、服薬を拒否したり、抵抗することがみられる。一度、服薬拒否すると、その後も薬を服用できないことがあり、保護者の悩みの種となっている。発達障害児の服薬拒否に対して、食物への混ぜ合わせの様な服薬指導では困難な場合が多く、より児の性格に対応した指導が必要となる。</p> <p>発達障害、特に自閉症スペクトラムの児は視覚優位のため、話し言葉という情報を取り込むことが苦手で、表情やニュアンスの読み取りに課題がある。話し言葉よりも文字や写真などの視覚的な情報の方が取り込みやすい傾向にあるため、自閉症の児に指導する場合は絵カードや写真を用いて「構造化」することで何をするかを分かりやすくすることができる。このことを踏まえて、第 29 回日本外来小児科学会年次集会のワークショップで、服薬支援のための絵カードを作成した。今回のワークショップではこの絵カードを用いて、実際の医療現場で発達障害の児の服薬支援を行い、有用性を検証するとともに、さらなる改良を心がけたい。</p> <p>なお、前回の年次集会はコロナのため開催できなかったが、今回は Zoom でも対応できるように準備するとともに、これまで WS で作成に協力して頂いた方にも絵カードを送り感想を集める。</p>			
WS のタイプ	問題解決型ワークショップ	対象	
開催形式	会場参加、Web 併用	医師、薬剤師、看護師、 保育士、臨床心理士	
定員	20 名		
当日参加	不可		
参加費	なし		



WS-23	コロナパンデミックを契機とした一般外来における感染症対策を考える	
[リーダー] 松浦 伸郎 (松浦医院) [サブリーダー] 川島 崇 (川島内科クリニック) 熊谷 直樹 (くまがいこどもクリニック)		
<p>一昨年前から始まったコロナパンデミックを契機として感染症に対する対策がいろいろ考えられているが、実際様々な場面でどのような感染対策をとったらよいか悩む場合も少なくない。今回のWSでは一般外来において、予防接種や健康診断の際、そして乳幼児と大人が一緒になるとき、発熱外来の最中に急患が来たとき、そして濃厚接触者に対する対策、どのような順に患者さんを見ていくかなど戸惑う場合も多い。外来だけでなく集団接種や集団健診など多くの人が集まるところ、また学校の健診など、どのようなやり方がいいのか、多くの異なった意見が出されることも少なくない。今回一般外来をするにあたり、保険証の確認、検査の説明、検体採取、投薬、会計などに加え待合室の在り方、診察室、処置室、隔離室などの動線をどうすればよいか、そして発熱者の待合室や外での隔離方法、多数の発熱者が来院された場合にそれぞれの方をどのように隔離し待ってもらえるかなど状況によって多くの問題が発生する。診察の優先順位、また狭い場所をどのように使い分けるか。自分たちのこれまでの経験を出し合い、今後パンデミックが収まった後でも役に立つ感染対策の方法を考えてみたい。</p>		
WSのタイプ	問題解決型ワークショップ	対象
開催形式	会場参加、Web併用	医師
定員	20名	
当日参加	不可	
参加費	なし	

## 7. 特別企画

### 【特別講演】

8月27日(土) 14:00～14:50

座長：稲光 毅 (いなみつこどもクリニック)

演者：西高辻 信宏 (太宰府天満宮 宮司)

---

### 【特別シンポジウム】

8月27日(土) 9:00～11:30

#### Community Pediatrics実現のために 今、改めて行政と1つの目標に向かう

座長：横田 俊一郎 (横田小児科医院)

#### かかりつけ医療機関が行政サービスの入口、子育て支援のハブとして機能する

演者：稲光 毅 (いなみつこどもクリニック)

#### 福岡市における子どもの育ちの見守り・支援体制 今後のあり方の展望

演者：石井 美栄 (福岡市保健医療局)

#### 思春期健診の結果に見る、就学以降のこどもの健康課題

演者：永光 信一郎 (福岡大学 小児科)

#### こども家庭庁、その目指すところ

演者：自見 はなこ (参議院議員)

## 8. 各種講演

### 【教育講演（小児科領域講習）】

8月27日（土）9:10～10:10

#### プライマリケアにおける不明熱への対応

座長：松田 健太郎（松田小児科医院）

演者：西小森 隆太（久留米大学小児科）

---

### 【教育講演（小児科領域講習）】

8月27日（土）10:30～11:30

#### 外来診療で遭遇する小児整形外科疾患：下肢痛の原因と対処方法

座長：堤 康（こでまり小児科クリニック）

演者：中村 幸之（福岡市立こども病院 整形・脊椎外科）

---

### 【教育講演】

8月27日（土）15:00～16:00

#### PCIT:親子相互交流療法

##### そだちと自己肯定感と小児外来～小さな工夫で大きな効果 親子相互交流療法PCITの視点～

座長：橋野 かの子（橋野こどもクリニック）

演者：笠原 亜希子（糸島こどもとおとなのクリニック）

---

### 【教育講演（小児科領域講習）】

8月28日（日）9:00～10:00

#### 出生後のスクリーニングと早期健診の未来

座長：佐藤 和夫（国立病院機構九州医療センター 小児科）

演者：大賀 正一（九州大学 小児科）

---

### 【教育講演（小児科領域講習）】

8月28日（日）10:30～11:30

#### 乳幼児健診における眼科的診察のポイント

座長：井上 和彦（いのうえこどもクリニック）

演者：後藤 美和子（福岡市立こども病院 眼科）

---

## 【倫理講習会（専門医共通講習）】

8月27日（土）16:00～17:30

倫理は人生の必修科目。立ち止まり選択を意識し、物語を紡ぐ

座長：三品 浩基（神戸市こども家庭局）

演者：金城 隆展（琉球大学病院）

---

## 【感染対策講習会（専門医共通講習）】

8月28日（日）14:10～15:10

共催：日本小児感染症学会 教育委員会  
AMR臨床リファレンスセンター

一般小児科外来で遭遇する感染症と鑑別すべき重症感染症

座長：山口 覚（伊都こどもクリニック）

演者：宮入 烈（浜松医科大学 小児科学講座）

※本講演は第5回小児AMR対策セミナー（P.36参照）の一部として開催されます。

## 9. シンポジウム

### 【シンポジウム】

8月27日(土) 9:00～11:30

#### 外国にルーツのある子ども－SDH（健康の社会的決定要因）の視点と小児科の役割－

座長：和田 浩 （健和会病院）  
森田 潤 （こどもクリニックもりた）

#### 現状を理解する：3つの壁

演者：新居 みどり（NPO法人国際活動市民中心（CINGA））

#### 医療現場での「やさしい日本語」

演者：武田 裕子 （順天堂大学大学院医学研究科）

#### 教員教育の課題とチーム学校への招待

演者：沢田 真喜子（日本女子体育大学 子ども運動学科）

#### SDH（健康の社会的決定要因）と小児科医の役割

演者：和田 浩 （健和会病院）

---

### 【シンポジウム】

8月27日(土) 15:00～17:30

#### 周産期から始まる子育て支援～予防接種・健診・小児保健活動の充実～

座長：高屋 和志 （高屋こども診療所）  
吉田 雄司 （よしだ小児科医院）

#### ペリネイタルビジットとワクチンデビュー時の子育てアンケート

演者：吉田 雄司 （よしだ小児科医院）

#### 小児科医が関わる産後ケア

演者：米倉 順孝 （大名よねくら小児科クリニック）

#### 小児科医が行う2週間健診・1か月健診 その公費化を見据えて

演者：金子 淳子 （金子小児科）

#### 子育てが楽しくなる乳児健診

演者：高屋 和志 （高屋こども診療所）

#### 1歳6か月から3歳児健診までの保健活動の充実にむけて

演者：秋山 千枝子（あきやま子どもクリニック）

## 【シンポジウム】

8月27日(土) 15:00～17:30

### 明日から使える！ 多職種のための栄養・生活指導のエッセンス

座長：進藤 静生 (しんどう小児科)  
青木 真智子 (青木内科循環器科小児科クリニック)

### 小さく生まれて何が問題なの？ ～DOHaD(ドーハッド)説から次世代の健康を目指して～

演者：福岡 秀興 (福島県立医科大学)

### 市町村の保健師ってどんな支援をしているの？～将来における母子の生活習慣病を防ぐ！！

演者：甲 聡子 (古賀市子育て支援課)

### 離乳食に悩む保護者の支援とは？～家庭訪問から見てきたこと～

演者：堀川 里美 (古賀市子育て支援課)

### 離乳食ってどう食べさせたらいいの？～不安・負担・不足の少ない食生活のために～

演者：川口 由美子 (一般社団法人母子栄養協会)

### 幼児の肥満や生活習慣で大事なことは何？～健やかな育ちを支えるために～

演者：原 光彦 (和洋女子大学 家政学部 健康栄養学科)

---

## 【シンポジウム】

8月27日(土) 15:00～17:30

### なぜ起きる？クリニックのトラブル ～様々な視点からトラブルの危機管理を考える～

座長：涌水 理恵 (筑波大学)  
金谷 能明 (かなや小児科)

### 信頼関係の構築は小さな一歩から ～医療者にできること患者にできること～

演者：阿真 京子 (NPO法人日本医療政策機構フェロー／子どもと医療)

### クリニックで看護師として行う危機管理 ～かかりつけ医の強み、弱みの両面から～

演者：野村 さちい (竜美ヶ丘小児科)

### ～元国際線CA伝授～ クレームを信頼と安心に変える対応術

演者：原田 慶子 (FIRST CLASS CAREER LAB)

### スタッフが体験する患者・家族とのトラブルおよび医療現場での危機管理の認識についての実態

演者：涌水 理恵 (筑波大学)

### インターネットを利用した医療機関等に対する権利侵害と法的な対応方法について ～インターネット上の口コミサイトを利用した行為を中心に～

演者：吉井 和明 (光雲法律事務所／福岡県弁護士会)

## 【シンポジウム】

8月27日(土) 15:00～17:30

### 医療的ケア児と家族を支える小児在宅医療の連携

座長：一ノ瀬 英史 (いちのせファミリークリニック)

### クリニックの小児在宅と地域連携

演者：一ノ瀬 英史 (いちのせファミリークリニック)

### 小児専門病院と地域連携

演者：井上 亜日香 (神奈川県立こども医療センター)

### 地域における医療的ケア児支援 在宅医療の視点から

演者：土畠 智幸 (生涯医療クリニックさっぽろ)

### 生活を楽しくする訪問看護

演者：松丸 実奈 (NPO法人にこり)

### ヤングケアラーについて (きょうだいの立場から)

演者：湯浅 正太 (亀田総合病院 小児科/一般社団法人Yukuri-te (ゆくりて))

---

## 【シンポジウム】

8月27日(土) 15:00～17:30

### 気にしよう、子どものメディア環境の激変を！—今を知る・考える・そして行動を—

座長：原 陽一郎 (筑紫女学園大学人間学部 人間科学科 初等教育・保育専攻)

### 子どもとメディアの問題 ～日本小児科医会の啓発活動の経緯～

演者：内海 裕美 (吉村小児科/日本小児科医会)

### ネット依存の疫学研究と小学生への依存症教育

演者：山田 正明 (富山大学医学部 疫学健康政策学講座)

### 乳幼児健診時等子どもとメディアに関する啓発の現場から見えること

演者：佐伯 美保 (NPO法人子どもとメディア/NPO法人福岡津屋崎子ども劇場/NPO法人ふくつ子どもステーションすてつぷ)

## 【シンポジウム】

8月28日(日) 9:00～11:30

### 家庭、クリニック、学校で進める性教育～小児科外来でも、性の話をしよう！

座長：川村 和久 (かわむらこどもクリニック)

橋野 かの子 (橋野こどもクリニック)

#### プレコンセプションケア

演者：荒田 尚子 (国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科)

#### 家庭でできる性教育「子どもとの性の話、はじめませんか？」

演者：宮原 由紀 (Siblings合同会社/性教育サイト命育)

#### 学校で行う性の健康教育 学校で行う性教育の実際についてと医師会と行政との連携について

演者：大隈 良成 (大隈レディースクリニック)

#### 生と性の保健指導－学校医、養護教諭と地域診療所の連携のために

演者：安達 知子 (総合母子保健センター愛育病院)

---

## 【シンポジウム】

8月28日(日) 9:00～11:30

### どこまでできる？ クリニックでの食物アレルギーへの介入

座長：西間 三馨 (国立病院機構福岡病院 名誉院長)

#### 食物アレルギーの現状

演者：手塚 純一郎 (福岡市立こども病院 アレルギー・呼吸器科)

#### スキンケアから考える食物アレルギーの発症予防

演者：福家 辰樹 (国立成育医療研究センター アレルギーセンター)

#### プライマリ・ケアで食物アレルギーを予防しよう

演者：西村 龍夫 (にしむら小児科)

#### 開業医が行う食物経口負荷試験

演者：下村 豪 (下村小児科医院)

#### 家族の食のQOLを高める栄養食事指導

演者：高松 伸枝 (別府大学 食物栄養科学部)



## 【シンポジウム】

8月28日(日) 9:00～11:30

### 新型コロナが子どもに与えた影響と対策

座長：黒川 美知子（くろかわみちこ小児科クリニック）  
八坂 知美（福岡市立西部療育センター）

### 子ども達に新型コロナウイルスの与えた影響～ Overview ～

演者：小橋 孝介（鴨川市立国保病院/松戸市立総合医療センター）

### 子どもの自殺の動向と自殺予防教育

演者：高橋 聡美（一般社団法人高橋聡美研究室）

### COVID-19パンデミックの摂食障害患者に対する影響 ー九州大学心療内科の新患調査から見えてきたものー

演者：高倉 修（九州大学病院 心療内科）

### からだところらの症状に「感情処理法」の重要性と実際 ～子どもの支援に親の支援を～

演者：米倉 けいこ（メンタルサポート研究所、山の手クリニック）

### 新型コロナ流行下での地域ぐるみの親子支援ー「マルトリ予防<sup>®</sup>」「とも育て<sup>®</sup>」ー

演者：友田 明美（福井大学 子どものところの発達研究センター）

---

## 【シンポジウム】

8月28日(日) 9:00～11:30

### 専門医・行政と連携した、発達障害診療

座長：下村 国寿（下村小児科医院）  
山下 洋（九州大学病院 子どものところの診療部）

### 発達障害が気になる子 ～一次医療機関での対応を考える～

演者：下村 国寿（下村小児科医院）

### 福岡市における発達障害児支援の現状 ～幼児期を中心に～

演者：中満 達郎（福岡市社会福祉事業団 福岡市立心身障がい福祉センター）

### かかりつけ医と発達障害～どこまで、どのように診るか～

演者：市河 茂樹（安房地域医療センター 小児科）

### ライフステージを通じた発達障害のある人と家族の支援に向けて

演者：山下 洋（九州大学病院 子どものところの診療部）

## 【シンポジウム】

8月28日（日）13:00～15:30

### “不登校”から見えてくる世界～それぞれの立場でどう関わるか～

座長：宇梶 光大郎（うかじ小児科医院）  
西山 久子（福岡教育大学）

#### 学校教育における不登校の位置づけと福岡市の多職種協働の取組

演者：西山 久子（福岡教育大学）

#### 小児科クリニックの取り組む不登校診療の実際

演者：石谷 暢男（石谷小児科医院）

#### 小児科医が行う不登校診療～身体症状を窓口に子どもの成長を支える～

演者：岡田 あゆみ（岡山大学病院小児医療センター小児心身医療科）

#### 不登校の現状と基本的理解（当事者支援の視点から）

演者：長阿彌 幹生（教育文化研究所）

---

## 【シンポジウム】

8月28日（日）13:00～15:30

### 実践!! 地域小児科診療から始める子どもの傷害予防

座長：山中 龍宏（緑園こどもクリニック）  
神菌 淳司（聖ルチア病院）

#### 傷害制御へのアプローチ – 具体的に取り組む

演者：山中 龍宏（緑園こどもクリニック）

#### 小児科開業医が行う地域での子どもの傷害予防活動；長崎県大村市での10年の実践を通して

演者：出口 貴美子（出口小児科医院）

#### 小児科医は子どもの代弁者 ～診療現場からつなげる・ひろがる「傷害予防」の輪～

演者：杉中 見和（豊洲小児科醫院）

#### コミュニケーションデザインから考える

演者：田北 雅裕（九州大学人間環境学研究院 教育学部門 教育社会計画学）

## 10. セミナー

### 【セミナー】

8月27日(土) 9:00～11:30

#### やってみたくなる！出来る気がする！プレパレーション

座長：児玉 和彦 (こだま小児科)  
宮崎 千穂 (福岡市立こども病院)

#### シン・プレパレーション

～外来だからこそできる！子どもと家族の支え方を考えてみませんか？～

演者：田中 美樹 (福岡県立大学)

#### クリニックでプレパレーション？それでもできた第一歩 ～看護師が実践する服薬指導～

演者：野村 さちい (竜美ヶ丘小児科)

#### 発達に問題を抱える子どもへの予防接種プレパレーション

演者：伊藤 舞美 (はしもと小児科)

#### 痛み緩和の普及はクリニックから～クリニックが好きでいられるように～

演者：原田 香奈 (東邦大学医療センター大森病院)

#### 実際にやってみてわかった～イける！！プレパレーション、ムズい！？プレパレーション～

演者：児玉 和彦 (こだま小児科)

---

### 【セミナー】

8月28日(日) 9:00～11:30

#### どうしたの？から始める虐待対応ー小児科医は地域の見張り番ー

座長：神菌 淳司 (聖ルチア病院)

#### BEAMS stage 1

演者：神菌 淳司 (聖ルチア病院)

※「虐待研修プログラム BEAMS」の対象です(現地のみ)。

#### こどもへの虐待を考えるー法医学の立場からー

演者：池松 和哉 (長崎大学 医療科学専攻社会医療科学講座法医学分野)

## 【セミナー】

8月28日（日）13:00～14:30

### 子どもの健やかな育ちを支えるNPOの活動

座長：田原 卓浩（たはらクリニック）

### スマホ時代の今、あらためて「おもちゃの力」を見直そう

演者：石井 今日子（特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会 福岡おもちゃ美術館）

### 一人で背負い込まないで ヤングケアラーの現状とその支援

演者：福重 淳一郎（特定非営利活動法人SOS子どもの村JAPAN）

---

## 【セミナー】

8月28日（日）13:00～15:30

### 「こどもの歯科医療、100年WONDERSのその先には！」 —健康で元気なのに受診する!?それは定期歯科健診！—

座長：落合 聡（おちあい小児歯科医院）

濱野 良彦（こどもの歯科）

### 定期歯科健診で見えてきたこと、診えるようになったこと

演者：岡 暁子（福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野）

### 口腔機能を定期歯科健診することで未来の子どもを支援する

演者：齊藤 一誠（朝日大学 歯学部 口腔構造機能発育学講座 小児歯科学分野）

### 定期歯科健診の光と影そして未来

演者：佐々木 洋（UTAKA DENTAL OFFICE 佐々木歯科）

## 【セミナー】

8月28日（日）14:30～15:30

主催：日本外来小児科学会 生涯学習委員会

### 自己学習プログラムセミナー

座長：森田 潤 （こどもクリニックもりた）

あなたの今の診療、そのままよいですか？

—どこでもできる、最新の外来診療が身に付くオンライン学習システム—

演者：長井 健祐 （長井小児科医院）

# 11. 小児 AMR 対策セミナー

8月28日(日) 9:00～14:00/14:10～15:10

共催：第31回日本外来小児科学会年次集会  
日本小児感染症学会 教育委員会  
AMR臨床レファレンスセンター

## 第5回小児AMR対策セミナー

ワークショップは要事前申込(専門医共通講習「感染対策」は不要)

### スケジュール

9:00-14:00 ワークショップ(事前申込制。ただし、11:30-13:00はランチ休憩)

14:10-15:10 一般小児科外来で遭遇する感染症と鑑別すべき重症感染症

講師 宮入 烈 (浜松医科大学小児科学講座) 専門医共通講習「感染対策」

### ワークショップ

リーダー 明神 翔太 (国立成育医療研究センター)

サブリーダー 大竹 正悟 (兵庫県立こども病院)

薬剤耐性菌(Antimicrobial resistance: AMR)の拡大は世界的な問題であり、抗菌薬適正使用は喫緊の課題である。外来小児科学会での第1回・第2回の開催では、小児科医を対象とした講義とワークショップを行い、第3回はクリニックの看護師や薬剤師を対象にオンラインで、講義とAMR対策を推進している先行事例の紹介(看護師・薬剤師)を行った。第4回も新型コロナウイルス感染症の流行の影響でオンラインでの実施であったが、講義や事例紹介だけでなく、希望者を対象としたグループワークを行った。オンラインの環境下ではあったがグループワークは滞りなく実施することができ、AMR対策にまつわる様々なテーマに関して活発なディスカッションを行うことができた。第4回までの開催で、本邦の抗菌薬処方9割を占める経口剤の適正化は、小児科だけでなく他の診療科、看護師、薬剤師(地域薬局)、市民、行政をまきこんだ、地域一丸となった取り組みが重要であるという結論に至った。また2016年に策定されたAMR対策アクションプランはまさに5年毎の見直しのタイミングであり、医療従事者は今一度AMR対策として自身にどのようなことが出来るかを見つめ直す必要がある。第5回は再び日本外来小児科学会年次集会における現地開催(新型コロナウイルスの流行状況次第ではweb併用)を目指しており、小児診療に関わる全ての職種を対象とした講義および事例紹介と小グループに別れたディスカッションを計画している。これまでの4回の開催の経験から、今回も講義や事例紹介を通じてAMR対策において各職種で出来ることを考え、実際に抗菌薬処方を行う医師にとっては他職種の考えを知ることにより気づきの機会となるようなワークショップにしたい。

対象：看護師、薬剤師、医療事務、医師、その他外来で子どもに関わる職種の方々

定員：30名(要事前申込)

## 12. こどもどこセミナー

### 【こどもどこセミナー】

8月28日(日) 13:00～15:30

#### こどもどこセミナー

##### 小児科医のキャリアプラン

目的：小児科に興味のある医学生・初期臨床研修医を対象に、小児科医としてどのようなキャリアプランがあるかを様々な背景を持つ5人の先生方から伺う。先生方の講演と座談会を通して今後の進路選択に生かす。

講師：熊田 知浩 (くまだ・キッズファミリークリニック 院長)

吉岡 春菜 (ジャパンハート理事長)

海野 聡子 (久留米大学小児科 内分泌グループチーフ)

中山 裕介 (中山小児科クリニック 副院長)

小林 揚子 (国立精神神経医療研究センター 小児神経科所属)

コーディネーター：雪上 晴加 (こどもどこ代表 滋賀医科大学6年)

太田 里菜 (こどもどこ副代表 神戸大学6年)

宮原 潤 (こどもどこ副代表 秋田大学6年)

米谷 僚子 (こどもどこ副代表 滋賀医科大学5年)

古川 智裕 (こどもどこスタッフ 熊本大学6年)

富樫 華子 (こどもどこスタッフ 群馬大学5年)

君島 静 (こどもどこスタッフ 京都府立医科大学5年)

清水 翔 (こどもどこスタッフ 旭川医科大学5年)

又吉 秋桜美 (こどもどこスタッフ 札幌医科大学5年)

内容：1. キャリアプランについてテーマにしたシンポジウム

2. 先生方とのグループに分かれた座談会

対象：医学生・初期研修医

参加人数：40名

申込：<https://forms.gle/XV2LJMrNezHCzhi36>



問い合わせ：こどもどこ代表メール [kodomodoko.sagpj@gmail.com](mailto:kodomodoko.sagpj@gmail.com)

# 13. ハンズオンセミナー・スポンサードセミナー

## 【ハンズオンセミナー】

8月28日(日) 9:00～11:30

協力：ケンツメディコ株式会社

### 起立性調節障害に寄り添う - 私たちの現実を知ってください -

#### 1. 映画上映：「今日も明日も負け犬」

起立性調節障害を患う女子高生 西山夏実さんが、ODをもっと広く知ってほしいという気持ちから、監督として自らの体験を基に制作した映画。原作・脚本は同級生の小田実里さん。西山夏実さんの役を演じたのも同級生の古庄菜々夏さん。大人立ち入り禁止の現場で制作されたエネルギー溢れる映画をご覧ください。

#### 2. 講演：起立性調節障害の理解とその対応

演者：吉田 誠司 (大阪医科薬科大学 小児科)

心身症・自律神経の専門医として多くのお子さんの診療と研究を長年続けておられる吉田先生に、起立性調節障害についてご解説いただき、われわれが外来でできる検査や対応方法についてご教授いただきます。

#### 3. ガイダンス：自動血圧計「起立くん」を使った新起立試験

ケンツメディコ(株)のご協力で、デモ器を準備します。

小児心身医学会の小児起立性調節障害(OD)診断・治療ガイドラインの「新起立試験法」に準じた検査を吉田誠司先生の指導の下、体験してください。

対象：すべての職種(映画のみでの参加はご遠慮ください) ※要事前申込



## 【ハンズオンセミナー】

8月27日(土) 15:00～17:30

### 吸入指導とスパイロメトリーをマスターしよう！

リーダー：上荷 裕広 (すずらん調剤薬局)

三浦 哲也 (三浦薬局)

小児気管支喘息は気道の慢性炎症を本態としており、基本治療は吸入ステロイドによる長期管理であるため、吸入療法は喘息治療において重要な役割を果たしています。そのため吸入手技の成否が効果を左右すると言っても過言ではありません。

そこで当セミナーでは単なる手技の指導方法ではなく、間違った吸入手技の実演から、問題点とその発生理由について、「どのように考え、なにをどのように伝えるのか？」を参加者と一緒に考えながら学んでいただきます。親と子が納得して治療に取り組めるための指導スキルを身につけましょう。

また喘息の基本検査であるスパイロについても、その必要性を理解していただき、いかにしてクリニックに取り込めばよいのかを、実践から学んでいただければと考えております。

子どもたちがより良い喘息治療に取り組めるよう、小児アレルギーエデュケーターと一緒に体験しましょう！

対象：すべての職種 ※要事前申込



## 【ハンズオンセミナー】

8月28日（日）13:00～15:30

### 食物アレルギー診療ABC

リーダー：手塚 純一郎（福岡市立こども病院 アレルギー・呼吸器科）

食物アレルギー診療において正しい診断と適切な除去が重要なのは言うまでもありません。近年は経口免疫寛容の概念が生まれ、アレルギーがあっても除去を継続する事を避けるような流れも出てきています。一方、湿疹が続く乳児の保護者や保育所などからアレルギー検査と称して血液中の特異的IgE抗体を網羅的に測定する事を求められる事も少なくないのではないのでしょうか。

本ハンズオンでは明日からの診療に役立つことを目指して、仮想の症例を提示し、診療の進め方についてグループワークを行いながら、食物アレルギー診療に必要な特異的IgE抗体検査（血液・皮膚プリックテスト）の行い方から、エピペンを含む即時型症状誘発時の対応についての指導、食物経口負荷試験の計画・実施とそれに基づく栄養指導までを学びます。

対象：医師 ※要事前申込

---

## 【スポンサードハンズオンセミナー】

8月28日（日）13:00～15:30

共催：グラフィラボラトリーズ株式会社

### 小児アレルギー予防を目的とした保湿ケア方法

司会：古野 憲司（福岡市立こども病院 総合診療科）

田阪 祐子（福岡市立こども病院 看護師／小児アレルギーエドゥケーター）

講師：工藤 恭子（福岡市立こども病院 皮膚科）

外来診療のなかで、皮膚のケアのお悩みありませんか？

ご家族から「先生から軟膏を処方してもらって塗っているけれど、塗り方がわからない」、「スキンケアってどうしたらいいですか」などの相談を受けることがあると思います。

アトピー性皮膚炎は、皮膚のバリア機能が低下し、痒みのある湿疹が、慢性的に良くなったり悪くなったりを繰り返す疾患で、スキンケア、薬物療法、悪化要因の対策の3つが治療の基本となります。なかでも、効果的なスキンケアを行うためには、適切な身体の洗い方や外用薬の塗り方がとても重要です。

そこで今回のセミナーでは、実際に泡立て方法や軟膏の塗り方、経皮的な水分量の測定など体験していただき、「明日からできるスキンケア」を小児アレルギーエドゥケーター（PAE）と一緒に学んでいきたいと思っています。

講師の他、多数の小児アレルギーエドゥケーター（PAE）が参加予定です。

対象：すべての職種 ※要事前申込

# ❖ natural science

胎内で守られていた赤ちゃんの肌を考えて、  
ママ&キッズのベビースキンケアは生まれました。

羊水でうるおいに満ちたママの胎内は、赤ちゃんにとって最適な環境。

ママ&キッズのベビースキンケアは胎内環境から学んだ処方をする事で、  
赤ちゃんの肌をすこやかに育てます。



- 無香料 ●無着色 ●弱酸性 ●パラベン無添加 ●アルコール無添加 ●鉱物油無添加
- 石油系界面活性剤無添加

- 新生児・乳幼児連用テスト済\* ○皮膚パッチテスト済\* ○アレルギーテスト済\* ○食物アレルギーテスト済\*
- アトピー性皮膚炎を有する乳幼児での安全性テスト実施済\* ※すべての方に合うというわけではありません

株式会社 ナチュラルサイエンス <http://www.natural-s.jp/>

〒136-0073 東京都江東区北砂 3-4-27

サンプル・資料請求 及び製品に関するお問い合わせは下記までお申し付けください。

●お問い合わせ先 株式会社ナチュラルサイエンス 営業部(担当: 堤 )  
TEL 03-5665-2311 FAX 03-5665-2322

Norditropin® FlexPro®



ヒト成長ホルモン(遺伝子組換え)製剤

**ノルディトロピン®**  
**フレックスプロ® 注** **5mg**  
**10mg**  
**15mg**

薬価基準収載

Norditropin® FlexPro®

一般名:ソマトロピン(遺伝子組換え)

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等につきましては、添付文書をご参照下さい。



製造販売元(資料請求先)

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1  
www.novonordisk.co.jp

JP/NT/0916/0152  
2016年9月作成



重要な基本的注意

1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より発表されている「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。

タウンズの迅速診断キット

# イムノエース® SARS-CoV-2 II

SARSコロナウイルス抗原キット

体外診断用医薬品

製造販売承認番号 30300EZK00085000

# イムノエース® SARS-CoV-2 II

●テストプレートの写真は SARS-CoV-2 抗原陽性例です。

新型コロナ  
ウイルス抗原を  
15分で検出

15min.

**01**  
新型コロナ  
ウイルス抗原を  
15分で検出

**03**  
変異株との  
反応性を確認\*

変異株との  
反応性を確認

イムノエース® Fluとの  
検体共用

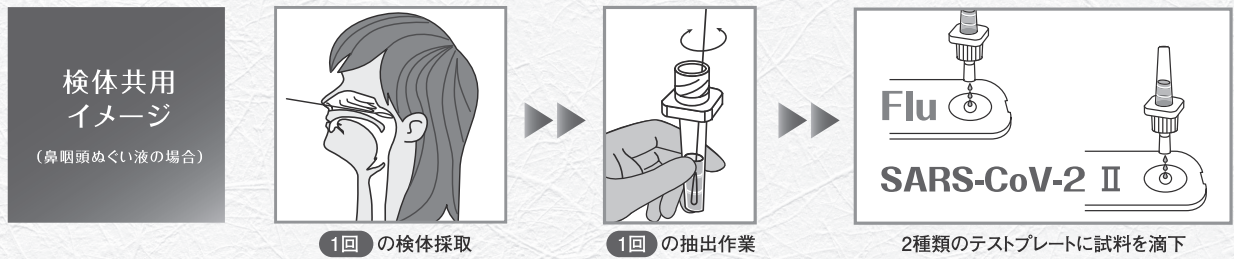
**02**  
イムノエース® Fluと  
検体共用可能

検体共用により1回の検体採取、1回の抽出作業でSARS-CoV-2とFluの2項目を検査することが可能です。

アルファ株・ベータ株・  
ガンマ株・デルタ株・カッパ株  
※本製品添付文書および(株)タウンズ取得データ

イムノエース® SARS-CoV-2 IIは、  
公立大学法人 横浜市立大学との共同研究をもとに開発しました。

検体種が鼻咽頭ぬぐい液の場合は他の項目とも検体共用可能です。(注)  
検体共用可能なイムノエース製品につきましては下記一覧表をご参照ください。  
(注) 試料調製後の液量や液の性状により、滴下可能なプレートの枚数は変わります。



検体共用可能な項目・検体種

SARS-CoV-2 II	Flu	アデノ	hMPV	RSV Neo	Flu/RSV
← 鼻咽頭ぬぐい液 →					
← 鼻腔ぬぐい液 →					

具体的な検体の採取部位等は各キットの添付文書をご参照ください。

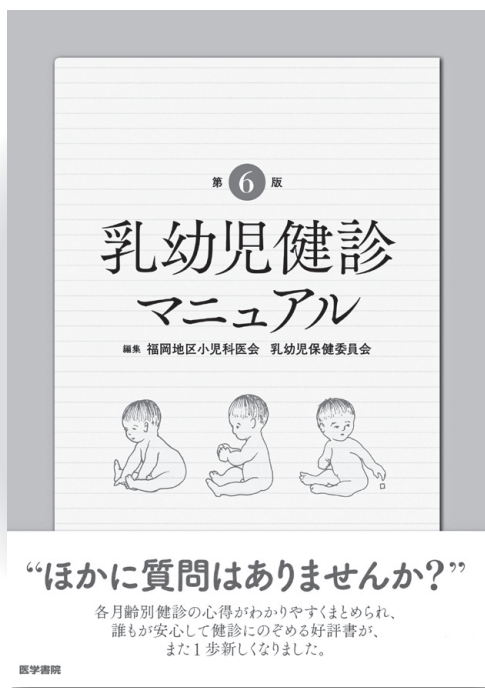
製造販売元 **株式会社 タウンズ**  
〒410-2325 静岡県伊豆の国市神島761番1

お客様専用フリーダイヤル  
お問い合わせ **0120-048-489**  
受付時間 / 9:00~17:30(土・日・祝日を除く)

# 乳幼児健診 マニュアル 第6版

編集 福岡地区小児科医会 乳幼児保健委員会

**本** 書の編集委員会は、全国でもアクティブに活動する団体として小児科領域を先導しており、特に乳幼児健診では『福岡式』として全国的な認知度も高い。基本的なコンセプトは前版までを踏襲し、誰もがすぐに目を通せる要点をまとめた使いやすさを心がけ、乳幼児健診をあまり良く知らない人でも合格点の健診ができる本としている。今版では情報内容が更新され、さらに乳幼児にかかわるトピックやコラムもより充実した内容となった。



●B5 頁168 2019年 定価：3,520円(本体3,200円+税10%)  
[ISBN978-4-260-03935-2]

## CONTENTS

- ◆ 乳幼児健診について  
健診の心構え  
乳幼児健診はいつ行うか
- ◆ 乳幼児健診の実際  
診察の前に行うことがら  
一般理学的検査の手順  
発達診断学的診察の実際  
発達障害が疑われる子どものみかたと対応
- ◆ 月齢別の健診のしかた  
1か月児健診  
4か月児健診  
7か月児健診  
10か月児健診  
12か月児健診  
1歳6か月児健診  
3歳児健診  
5歳児健診
- ◆ 育児相談・育児支援  
1. 育児相談のポイント  
— 特に健診現場における育児支援の実際  
2. 乳幼児の生活習慣  
3. 乳幼児期の栄養指導  
4. 事故防止  
5. 食物アレルギー  
6. スキンケア  
7. 禁煙指導  
8. 子どもの歯の衛生  
9. 子どもの虐待への気づきと支援  
10. 母親のメンタルヘルスと育児支援  
11. 予防接種

医療・健康ニーズに応じて、  
人々の健康・福祉に  
いっそう貢献したい。



患者さんのために、わたしたちにできることがきっとある。  
これからも医療・健康ニーズをとらえ、独創的な新薬を開発してまいります。



MOCHIDA

持田製薬株式会社

<https://www.mochida.co.jp/>

# もっと人のために。

わたしたちは、臨床検査薬を通じ、  
確かな技術力で社会へ貢献してまいります。



## SARSコロナウイルス核酸キット

体外診断用医薬品  
承認番号 30300EZ00020000

### スマートジーン® SARS-CoV-2

スマートジーン® SARS-CoV-2 テストカートリッジ  
スマートジーン® SARS-CoV-2 検体採取セット

前処理不要の1ステップ測定

RNA 抽出時、遠心分離等の操作は不要

試料滴下から約60分で測定



## 遺伝子解析装置

特定保守管理医療機器/設置管理医療機器  
届出番号 41B2X10001000004

全自動遺伝子解析装置

### スマートジーン®

迅速判定が可能

1ステップ自動判定。

試薬ロスが出ません。

コンパクト設計の卓上タイプ

結果をプリントアウト

## Smart Gene®

スマートジーン対応試薬

スマートジーン Myco

スマートジーン SARS-CoV-2



## 小さく軽い簡単操作

特定保守管理医療機器  
届出番号41B2X10001000005

デンシトメトリー分析装置

### スマートQCリーダー®

NEW

#### ジドウソクテイ

試料滴下後のテストプレートを判定  
ヒーター内蔵で低温時でも安心測定  
モードセレクトで  
反応時間経過後の  
テストプレートも判定できます。

#### ジドウプリント

検査結果は  
自動でプリントアウト  
検体名(ID)も印字されるため、  
結果の取り違い防止にもなります。

スマートQCリーダー対応試薬

クイック チェイサー SARS-CoV-2/Flu

クイック チェイサー Flu A,B

クイック チェイサー Strep A

クイック チェイサー Adeno

クイック チェイサー RSV/hMPV

クイック チェイサー 肺炎球菌II

クイック チェイサー 肺炎球菌/レジオネラ



赤ちゃんの肌にもやさしく使える。  
ベタつかないのに、長時間しっとり。



乳幼児  
使用テスト済\*

医療機関向け製品

グラファ  
モイスチュアキープ ミルク MC  
〈乳液〉 130g 2,200円(税込)

### なめらかにのびて塗りやすい低刺激性\*乳液

- 敏感な肌にもやさしい低刺激性\*
- ヒアルロン酸よりも高い保湿力を持つ独自保湿成分〈MCキトサン〉が肌表面に「潤いの保護膜」を形成し、長時間しっとり。
- なめらかにのびて塗りやすく、全身のケアにも最適。  
(顔にも体にもお使いいただけます。)
- 無香料・無着色・エタノールフリー
- ノンcomedogenicテスト済\*

※すべての方に肌トラブルが起こらない、ニキビのもと(コメド)ができないというわけではありません。

製品に関するお問い合わせ、サンプル・学術資料のご請求は **0120-520075**

その他  
取扱い製品

- サンプロテクト UV 敏感な肌へのやさしさを追求した日やけ止め
- メラノキュア HQ 3.9%ハイドロキノン\*配合製品
- C10ローション 10%ビタミンC誘導体\*配合ローション

- カバーマーク オリジナル 皮膚変色をきれいにカバーするファンデーション
- ダドレス 白斑・脱色素で白く抜けた肌を目立たなくする肌色着色料  
\*製品の抗酸化剤





抗糖尿病剤 創薬/処方箋医薬品<sup>®</sup>  
注)注意-医師等の処方箋により使用すること

**ルムジェブ**<sup>®</sup>

LYUMJEV Injection

インスリン リスプロ(遺伝子組換え)注射液

薬価基準記載

注ミリオベン<sup>®</sup>  
注ミリオベン<sup>®</sup>HD  
注カート  
注100単位/mL

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

日本イーライリリー株式会社  
神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

Lilly

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は、添付文書をご参照ください。

Lilly Answers リリーアンサーズ

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口 [www.lillymedical.jp](http://www.lillymedical.jp)

(医療関係者向け)

0120-360-605<sup>\*1</sup>

受付時間 月曜日～金曜日 8:45～17:30<sup>\*2</sup>

<sup>\*1</sup> 通話料は無料です。携帯電話からでもご利用いただけます。  
高、IP電話からはフリーダイヤルをご利用できない場合があります。  
<sup>\*2</sup> 祝祭日及び当社休日を除きます。

2021年4月作成  
PP-UR-JP-0687

予防医学の最前線に立つ  
**KITASATO**

「ワクチン」を  
おとどけする使命

ワクチンで防げる感染症は予防したい  
未来をなう子供たちや若者たちを  
感染症からまもりぬくために…  
北里薬品産業は半世紀以上、  
予防医療の最前線に立つてきました。  
その信頼と実績のもと私たちは、  
各種ワクチンを最善の管理、最新の情報とともに  
おとどけし、医療現場の皆さんを、  
これからも全力でサポートしてまいります。

販売元  
(資料請求先)



北里薬品産業株式会社

本社 〒108-0073 東京都港区三田5丁目4番3号  
大阪支店 〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目5番7号

販売協力

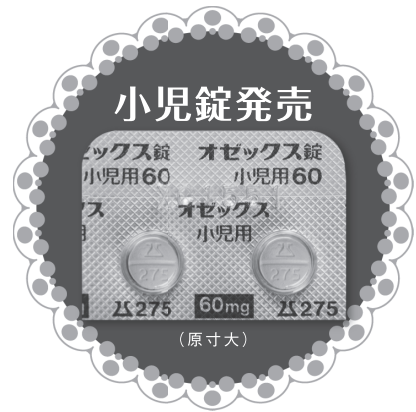
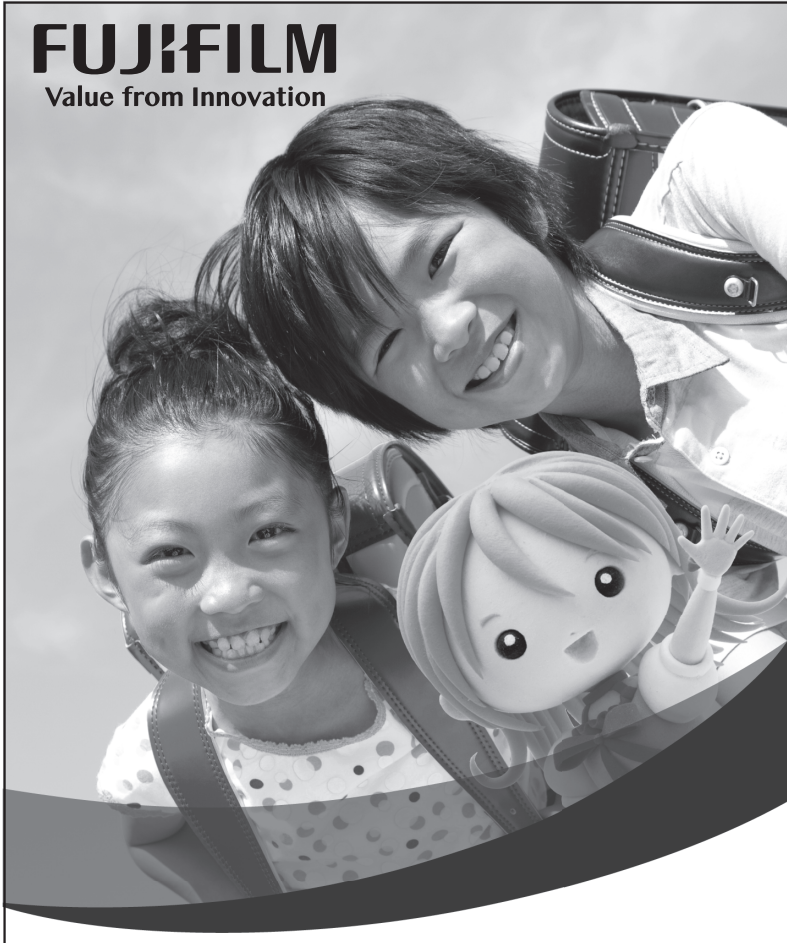
**meiji** Meiji Seika ファルマ株式会社

〒104-8002 東京都中央区区橋2-4-16

詳しい商品情報は… <http://www.kitasato.co.jp>

# FUJIFILM

Value from Innovation



ニューキノロン系経口抗菌製剤 処方箋医薬品\* 薬価基準収載

## オゼックス®錠小児用 60mg

日本薬局方 トスフロキサシントシル酸塩錠

注) 注意一医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元

**富士フイルム 富山化学株式会社**

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル  
ホームページ：http://fctc.fujifilm.co.jp/

TEL03(5250)2620

2019年5月作成



乾燥弱毒生水痘ワクチン

薬価基準未収載

生物由来製品 | 劇薬 | 処方箋医薬品 (注意一医師等の処方箋により使用すること)

## 乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」

効能・効果、用法・用量、接種不適当者を含む接種上の注意等については、添付文書をご参照ください。

ウイルスワクチン類 生物学的製剤基準



製造販売元  
一般財団法人 阪大微生物病研究会  
香川県観音寺市瀬戸町四丁目1番70号

2020年12月作成

世界中のあかちゃんへ  
スターバンドが創る未来

star  band<sup>®</sup>  
When nature needs a nudge.™

The ONE & Only  
STARband<sup>®</sup>



医療機器承認番号:23100BZX00034000

輸入・販売元/お問合せ先



株式会社 AHS Japan Corporation

〒530-0051 大阪市北区太融寺町2-18 TEL.06-6314-1122 FAX.06-6314-1123

■info@ahsjapan.com ■http://www.ahsjapan.com ■http://www.facebook.com/ahsjapan



# HPP治療を支えるチカラ

ストレンジック®は、低ホスファターゼ症 (HPP) の  
酵素補充療法を可能にしました



低ホスファターゼ症治療剤 薬価基準収載

## ストレンジック®

アスホターゼ アルファ STRENSIQ® for Subcutaneous Injection

皮下注12mg/0.3mL 皮下注18mg/0.45mL  
皮下注28mg/0.7mL 皮下注40mg/1mL  
皮下注80mg/0.8mL

アスホターゼ アルファ (遺伝子組換え) 製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品<sup>※</sup> (注意-医師等の処方箋により使用すること)

## 2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

## 4. 効能又は効果

低ホスファターゼ症

## 6. 用法及び用量

通常、アスホターゼ アルファ (遺伝子組換え) として、1回1mg/kgを週6回、又は1回2mg/kgを週3回皮下投与する。なお、患者の状態に応じて、適宜減量する。

## 8. 重要な基本的注意

- 低カルシウム血症があらわれることがあるため、本剤投与後は、定期的に血清カルシウム値を測定し、血清カルシウム値の変動や痙攣、しびれ、失見当識等の症状に注意すること。なお、必要に応じてカルシウムやビタミンDの補充を考慮すること。[11.1.1参照]
- 本剤はたん白質製剤であり、アナフィラキシーショックなど重度のアレルギー反応が起る可能性がある。異常が認められた場合には直ちに本剤の投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 本剤投与中又は投与当日に、本剤投与に関連する投与時反応 (発熱、悪寒、易刺激性、悪心、頭痛等) が発現することが報告されているため、患者の状態を十分に観察し、異常が認められた場合は、適切な処置を行うこと。
- 本剤投与後、注射部位反応 (紅斑、発疹、変色、そう痒感、疼痛、丘疹、結節、萎縮等) が発現することが報告されているため、注射部位反応の発現に注意し、必要に応じて適切な処置を行うこと。なお、注射部位反応は週3回投与よりも週6回投与で多く報告されているため、週6回投与する場合は注射部位反応の発現により注意すること。[14.2.3参照]

8.5 頭蓋骨縫合早期癒合症及び異所性石灰化は、低ホスファターゼ症患者に認められる合併症であり本剤との因果関係は不明であるが、臨床試験においてこれらの事象が報告されているため、以下の点に注意すること。

- 5歳未満の患者において頭蓋骨縫合早期癒合症があらわれるおそれがあるので、頭蓋内圧の測定や視神経乳頭浮腫を確認する眼底検査を定期的実施するなど、観察を十分に行うこと。
- 眼や腎臓などに異所性石灰化があらわれるおそれがあるので、眼科検査や腎臓の画像検査 (超音波検査等) を定期的実施するなど、観察を十分に行うこと。

8.6 本剤の自己注射にあたっては、患者又はその保護者に投与方法及び安全な廃棄方法の指導を行うこと。

8.6.1 投与方法について十分な教育訓練を実施したのち、患者又はその保護者が確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導のもとで実施すること。

8.6.2 全ての器具の安全な廃棄方法について指導を徹底すること。

8.6.3 本剤の注射方法の説明書を必ず読むよう指導すること。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 11.1 重大な副作用

11.1.1 低カルシウム血症 (4.2%)  
[8.1参照]

## 21. 承認条件

21.1 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

21.2 国内での治験症例が極めて限られていることから、製造販売後、再審査期間中の全投与症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。

その他の使用上の注意については、添付文書をご参照ください。